

別表テンプレート

I 経済成長の促進

成果目標	現状(2013年現在)	成果(2017年現在)
(1)アフリカ全貿易量に占める域内貿易の割合の拡大 (2)アフリカにおけるビジネス環境の改善 (3)アフリカの輸出量の増加	世界的な経済低下にもかかわらず、サブサハラアフリカはその強さを維持している。経済成長は、2013年にはおよそ5%近くに達し、2015年までには5.5%にまで増加する見込みである。それでもなお、貧困や不平等さは多くの国で高く、最も弱い部分も含めて貧困削減や経済機会を増加する努力が必要とされている。ゆえに、経済成長がTICADプロセスと横浜行動計画の柱である。第一の柱における成果目標は、a)アフリカ域内貿易の割合を増加すること、b)アフリカ国内のビジネス環境を改善すること、c)アフリカの輸出量を増加することである。今まで、アフリカ域内貿易は約12%に低迷しており、特に食料の主要産物や食料サービスにおいて大幅に拡大する余地がある。アフリカ各国の景気は向上し続けている。2012年から2013年、アフリカのビジネス・フレンドリー・リフォームの速度は先進国の3倍である。アフリカにおける改革の上位三カ国はルワンダ、ブルンジ、コートジボワールである。しかし、アフリカ大陸からの一次産品の輸出が好調であり続ける一方、輸出ベースでの多様化にむけた改善はほぼ行われていない。	一年間の進捗は、年次進捗報告書によってTICAD V 閣僚会合にてレビューされる。2017年現在の成果は、次回のTICADにて報告される。

TICAD Vが支援するアフリカの取組	実施主体	活動/イニシアティブ(要約)	実施期間(想定)	モニタリング方法
1 ミレニアム統合プログラム(MIP)及び大陸自由貿易圏(CFTA)の実施の強化	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体	1.1 アブジャ条約に関連する地域経済共同体(RECs)間の協力強化。 1.2 広域貿易・市場に関連する産業化の機会及び競争上の有利分野を特定するための加盟国及びRECsに対する技術・分析支援。 1.3 統合プロセスのためのモニタリング及び評価枠組みの開発に関するCOMAI勧告の実施のフォローアップ報告書の精緻化。 1.4 統合に関する意見交換・成功事例の共有のためのセミナー及びワークショップの開催。 1.5 貿易統計及び国際収支統計の調和化。 1.6 投資に関するアフリカ年鑑の精緻化。 1.7 アフリカのための社会会計マトリックスの精緻化。 1.8 アフリカにおける統計調和化のための戦略の実施。 1.9 アフリカ統計年鑑の精緻化及び発刊。 1.10 アフリカ連合憲章第19条に基づく大陸金融機関の実施(アフリカ通貨基金、アフリカ投資銀行、アフリカ中央銀行、汎アフリカ証券取引所)。	2013-2017	年次実施報告書の作成
2 天然資源の加工におけるアフリカの中小企業のグローバル・バリューチェーンへの統合	アフリカ連合委員会	2.1 アフリカの投資・ビジネス環境の改善。 2.2 民間セクターのための基礎的社会及び経済インフラへのアクセスの拡大。 2.3 ワークショップ、セミナー等を通じたアフリカ企業開発の促進。 2.4 汎アフリカ投資コードの策定及び実施。 2.5 汎アフリカ投資コードの認証に向けた広域ワークショップの企画。 2.6 産業開発における起業家への訓練及び能力開発。 2.7 アフリカの産業開発及び技能能力の立ち上げ・構築及び強化のための投資資金による融資の容易化及び支援。 2.8 機能する政策環境の実現と実施可能な官民連携(PPP)のために必要な政府及びRECsへの技術支援。 2.9 投資を呼び込み、社会的責任を有する起業育成のためのビジネス環境整備。 2.10 日本の投資機関とアフリカの投資機関とを橋渡しする民間セクターフォーラム及びワークショップの企画。 2.11 天然資源を採取する地域社会の技術的及び制度的能力の構築。 2.12 アフリカの中小企業の責任ある経済的及び社会的約束履行の促進。	2013-2017	年次実施進捗報告書の作成
3 民間セクターに対する資金的制約の軽減及びアフリカの金融システムの深化	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体	3.1 アフリカ女性起業家投資イニシアティブの立ち上げ。 3.2 女性及び若者起業家を対象としたマイクロファイナンス投資及びプログラムの支援。 3.3 金融及び資本市場の深化・拡大する各種イニシアティブの支援。保険やリースといった多様な金融機関及びサービスの設立の慫慂、債権、株式、保証といった中長期の資金を動員できる金融機関の開発、本国通貨の貸出し増加による地元民間セクターへの融資の試み、アフリカの中小企業への融資機会の拡大。 3.4 アフリカ連合憲章第19条に基づく大陸金融機関の実施(アフリカ通貨基金、アフリカ投資銀行、アフリカ中央銀行、汎アフリカ証券取引所)。 3.5 アフリカの民間リスクの能力強化、透明性及び格付けモデルを議論するためのアフリカ金融リスク評価の検討に関する国際フォーラムの企画。	2013-2017	年次実施進捗報告書の作成

4	女性への経済的機会の拡大	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体	4.1 アフリカの女性実業家の機会の深化。 4.2 大陸レベル、広域レベル、国家レベルでのアフリカの女性実業家の能力の構築と訓練の企画。 4.3 女性への経済的機会の拡大のための国家レベル及び広域レベルでの法律及び規制の制定に貢献。	2013-2017	年次実施進捗報告書の作成
5	アフリカの中小企業の先進国への市場アクセス	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体	5.1 アフリカの中小企業のための国際規範及び標準を促進するために国家レベル及び地域レベルでの訓練やワークショップの企画。 5.2 先進国市場の規格・水準に合致する製品やサービスの成功事例の発信の促進。	2013-2017	年次実施進捗報告書の作成
6	広域統合及び貿易円滑化のための域内貿易の促進	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体	6.1 統合化された国境管理及び通関・運搬。 6.2 アフリカの税関当局の規律向上と反汚職の促進。 6.3 広域統合及び貿易円滑化のためのアフリカ関税当局への能力構築。 6.4 域内及び域外貿易促進のためのRECsへの技術支援。 6.5 アフリカの域内貿易促進のためのサービス分野の自由化。(a)研究、(b)貿易サービス統計、(c)域内サービス市場開発の支援、(d)国家戦略におけるサービスの主流化、(e)広域規制当局を対象とした技術支援、(f)業務アウトソーシング及びIT接続可能なサービスのための政策枠組み。 6.6 産業開発。(a)産業政策管理、産業データ収集及びモニタリングのための能力構築及び技術支援、(b)産業技能開発、技術移転及び普及センターの立ち上げ・設置、(c)技術インキュベーターの設置、(d)アフリカの大学においてイノベーションに関する教授職の設置及びアフリカテクノロジーの実施。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム、進捗報告、貿易観測
7	投資環境改善のための政策及び規制改革	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体	7.1 貿易政策の策定における民間セクター、インフォーマルセクター及び女性の役割を含む国家開発戦略におけるアフリカ域内貿易の主流化。 7.2 相互連結された貿易情報交換センターの設置。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム、進捗報告、貿易観測
TICAD Vの重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	広域開発のための域内統合推進、特に貿易に関連したインフラ整備、貿易円滑化、貿易障壁の撤廃、各国政府及び地域経済共同体(RECs)の能力強化を通じた域内・地域間の貿易促進	日本政府	1.1 貿易投資促進に資するアフリカ行政官人材の育成(1,000人(税関、貿易産業投資促進))。(I 1.1, II 5.1)* 1.2 ワンストップボーダーポスト(OSBP)システム普及及び運用に係る知見の共有を20ヶ国、300人に対して実施。 1.3 NEXIIによる貿易、投資保険引き受け見直し及び20億ドルの保険引受け。(I 1.3, I 2.3)* 1.4 WCOを通じた税関能力向上支援。 1.5 JBICにアフリカ貿易投資促進ファシリティを設け、50億ドル規模の出融資・保証を実施。(I 1.5, I 2.9, I 3.4, II 1.8, IV 8.3)* 1.6 税関の能力向上支援(アフリカ開発銀行の信託基金を通じた5年で2,500万ドル相当支援の一部)(I 1.6, I 4.4)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	1.1 アフリカ各国にとっての地域・国際間貿易、及び商品・サービスの競争力における障壁に関し、それらを特定し取り除くための分析作業及び技術協力を行う。貿易に関する政治経済学に注力する(小規模業者、とりわけ女性のためのイニシアティブ、保健・教育・観光・主食分野の貿易、地域統合が貿易に与える影響等)。 1.2 輸送回廊、輸送の接続、税関の簡素化、ワンストップボーダーポストに伴う貿易障壁を取り除くための支援を行う。	2014-2015	TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画(UNDP)	1.1 域内・地域間の貿易及び域内統合及び南南・三角協力を通じた包括的なグリーン成長推進支援。 1.2 途上国パートナーと連携しての、雇用問題、持続的な資源管理、及びエネルギー問題への革新的な取り組み、持続可能な政策、制度を特定、開発、実証、評価、促進するためのグローバルおよび地域間の協力ネットワークの開発及び確立支援。(I 2.1., I 7.3, II 2.1, III 2.3)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		世界関税機構(WCO)	1.1 貿易上の安全を確保しつつ越境貿易を円滑化するために税関当局の能力向上によってアフリカ地域における貿易円滑化促進及び税関近代化を支援。	2013-2017	進捗状況の定期的なレビュー
		世界貿易機関(WTO)	1.1 アフリカ域内貿易促進に関する行動計画の効果的な実施に向けた国内及び地域レベルでの貿易関連技術支援の提供及びトレーニングの実施。 1.2 アフリカにおける多国間貿易に係る事項に関する人材育成及び関連機関の能力向上。 1.3 モニタリング・評価を通じたアフリカにおける貿易のための援助に関する関連活動の支援。	2014-2017	結果重視マネジメント(RBM)を含むWTOのフォローアップメカニズムを通じたモニタリング・評価を実施

		国際貿易センター (ITC)	1.1 中小企業と多国籍企業、貿易促進機関、地域間の貿易促進機関、地域経済協力機関との連携強化による、地域バリューチェーンの形成支援。 1.2 域内及び地域間の国境通過手続の改善支援。 1.3 環境にやさしい製品及びサービスの市場開拓及び市場環境強化によるグリーン経済の促進支援。 1.4 国内及び地域レベルにおける、PPPを活用した貿易関連インフラ整備のためのアドバイザー・サービス支援の実施。	2014-2017	ITCの結果重視マネジメント (RBM) システムを通じて実施 (TICADフォローアップメカニズムと合致した形で実施)
		国際熱帯木材機関 (ITTO)	1.1 アフリカ域内での熱帯木材・木製品の貿易と加工の促進を通じた森林分野における貿易と投資の促進。(TREESイニシアティブにも貢献)	2013-2015 (フェーズ1)	TICADフォローアップメカニズム、並びにITTOの通常のモニタリング・評価手法を通じ評価
2	競争の促進及びビジネスコストの軽減(ビジネス環境の改善(含む法制度・財政制度、知的財産の保護に関連する改革))を通じた投資促進。これら改革により観光部門を含む、産業開発の競争力と産業開発に適した環境の向上	日本政府	2.1 “包括的ビジネス”を含む貿易投資促進策の強化。 2.2 投資協定の締結。 2.3 NEXIによる貿易保険引き受け見直し及び20億ドルの保険引受け。(I 1.3, I 2.3)* 2.4 NEPAD-OECDアフリカ投資イニシアティブのための継続的な支援。 2.5 知的財産関連のシステム構築及び知財人材・組織開発支援(WIPO拠出金)。 2.6 投資アドバイザーの派遣, 10ヶ国。(I 2.6, I 6.1, I 7.3)* 2.7 観光従事者の人材育成, 700人。(I 2.7, I 7.4)* 2.8 アフリカ観光促進イベントを開催, 10回。(I 2.8, I 6.2)* 2.9 JBICにアフリカ貿易投資促進ファンリティを設け, 50億ドル規模の出融資・保証を実施。(I 1.5, I 2.9, I 3.4, II 1.8, IV 8.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	2.1 税関機関の発展と調和の支援。	2014-2017	プロジェクトのモニタリングメカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画 (UNDP)	2.1 産業開発、インフラ整備及び包括的なグリーン成長に関する政策、戦略の調和化支援。(I 2.1, II 1.2)* 2.2 リージョナル・サブリージョナルな地域機関における持続的及び雇用・労働集約的な生産能力強化に向けた政策、計画、戦略の分析、策定、調整及び提言能力の向上。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		アフリカ担当事務総長特別顧問事務室 (UNOSAA)	2.1 官民パートナーシップとアフリカへの投資を促進するためのアドボカシーフォーラムとして年次開催されるアフリカ投資家フォーラムの共催。 2.2 アフリカの産業化についての年次ハイレベル会合の開催。	2013-2017	2.1 フォーラム報告 2.2 アドホックベースのブリーフィングと報告
		国連工業開発機関 (UNIDO)	2.1 投資可能な環境整備と民間ビジネスの資金的及び社会的還元促進。	2013-	UNIDOによるモニタリング及び評価
		経済協力開発機構 (OECD) NEPAD-OECDアフリカ投資イニシアティブ	2.1 「投資のための政策枠組み(Policy Framework for Investment: PFI)」に基づいた投資政策レビューを通じ、ビジネス環境改善に向けた取組を支援。 2.2 NEPAD-OECDアフリカ投資イニシアティブとSADCによる地域的投資のための政策枠組みの策定(OECDのPFIを基に実施中)を含め投資政策に関する地域間協力の強化を通じた地域レベルでの投資環境向上を支援。	2009-2014	政策に関する議論及びガイダンスの妥当性及び正確さを確保するために、継続的にパートナー機関及び各国政府における実施タスクフォースとコミュニケーションを図る
		世界貿易センター (ITC)	2.1 海外直接投資(FDI)誘致に向けた域内・地域統合の促進。 2.2 バリューチェーンの最適化のためのビジネスサービス改善に向けた、貿易支援機関及び貿易促進機関の強化。 2.3 国内及び地域レベルにおける効率的なプログラムの実施。 2.4 特定のセクター開発戦略を土台とした国家及び地域貿易戦略の一貫性の確保。 2.5 貧困コミュニティを地域及びグローバル・バリューチェーンへ統合するための資金創出支援、特に持続可能な観光産業とエコシステム・サービスの発展に関する支援を実施。	2014-2017	ITCの結果重視マネジメント (RBM) システムを通じて実施 (TICADフォローアップメカニズムと合致した形で実施)
		国連貿易開発会議 (UNCTAD)	2.1 アフリカ及びLDCの内陸国に対する直接投資のための投資ガイドの作成。 2.2 投資政策レビュープログラム:FDI誘致のための法規制、制度評価の実施。	2.1 2013- 2.2 継続中	投資ガイドが作成された国へのFDIフローの状況
		国際海事機構 (IMO)	2.1 海事分野における投資の呼び込み。	2013-2018	追加的に投資された額の算定
		フランス語圏諸国共同体 (OIF)	2.1 貿易・投資に係る外国との直接交渉能力の強化。	2015	EUへの報告書

		アガカーン財団ネットワーク(AKDN)	レジャー・観光業、アグリビジネス、エネルギー政策や情報通信等様々な分野における経済投資の支援。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用
3	持続可能な資源開発の促進支援、資金の流れ及び地域社会との関係における透明性及び説明責任の観点から民間セクターの責任ある活動を奨励	日本政府	3.1 1,000人の資源開発人材育成支援。 3.2 20億ドルのリスマネー供給。 3.3 投資環境整備のための政策対話。 3.4 JBICにアフリカ貿易投資促進ファンリティを設け、50億ドル規模の出融資・保証を実施。(I 1.5, I 2.9, I 3.4, II 1.8, IV 8.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画(UNDP)	3.1 アフリカ鉱業開発センター(AMDC)の立ち上げ支援。 3.2 アフリカを含む新興産油・産ガス途上国のための、南南・三角協力を通じた知識の共有や創出、能力向上、研究活動、データ・知見の蓄積のための公的なメカニズムの設立支援。 3.3 天然資源、生態系保全サービス、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた法的、政策的、及び制度的な枠組みの開発、及び採掘産業における透明で効果的な資源管理に関する政策やガイダンスの策定及び普及を通じた、広域レベル及び国レベルでの対策・取組支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		OECD開発センター	3.1 アフリカ及びその他地域の資源富裕国のための制度化された国際政策対話の設置。	2013-2015	対話設置に伴う報告書システムを通じたOECDによるフォローアップ
4	民間セクター開発支援(特に中小企業及び女性企業家の資金アクセスの向上、民間投資を呼ぶ込むための公的資金の活用、地元企業の生産性及び管理能力の向上)	日本政府	4.1 EPSAノンソブリンローン実施等を通じた民間セクター支援、5億ドル。 4.2 TICAD産業人材育成プログラム:TICAD産業人材育成拠点地を10カ所設け、カイゼンを含む産業人材育成支援を25ヶ国、30,000人以上を対象に実施。「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」を立ち上げ、1,000人を日本に招聘。(I 4.2, I 7.1, II 8.1)* 4.3 投資ミッション派遣及びセミナーの開催。 4.4 中小企業向け融資に関する技術支援(アフリカ開発銀行の信託基金を通じた5年で2,500万ドル相当支援の一部)(I 1.6, I 4.4)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	4.1 女性が所有する中小企業及び零細企業へ向けた、IFCによる金融市場への最低25%の投資及び50%のマイクロファイナンスへの投資を行う。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画(UNDP)	4.1 ジェンダーに着目した農業投資支援のためのAU及びRECSの能力強化。(I 4.1, III 2.1)* 4.2 ジェンダーに配慮した経済的自立を目指す政策を支援するための知識や経験の体系化と共有、新しいモダリティ支援、及び女性の資金アクセスやビジネス開発サービスへのアクセスやスキル向上のための能力向上支援。(I 4.2, I 5.1, II 8.1, III 2.2)* 4.3 アフリカにおける大企業と中小企業をつなぐための政策、計画及び戦略を分析、策定、調整及び提言するためのリージョナル・サブリージョナル機関の能力向上。(I 4.3, III 3.1)* 4.4 意思決定プロセスへの女性の参加を促進するガイダンスの策定。(I 4.4, I 5.2)* 4.5 環境やエネルギーに関する政策討議や各国の政策、戦略及び計画にジェンダーを反映させるためのグローバルパートナーシップの促進、強化。(I 4.5, I 5.3)* 4.6 SS-GATEを通じた、途上国の包括的発展のための技術、資産、サービス及び資金の取引を支援するプラットフォームによる途上国の支援。(I 4.6, I 6.1)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連工業開発機関(UNIDO)	4.1 投資技術促進:日本の主に中小企業の対アフリカ直接投資及び技術移転の促進。 4.2 アフリカ産業開発の加速化(AIDA)行動計画の実施:貿易・投資、民間セクター強化、環境エネルギー、中小企業等多岐にわたる分野の支援の実施。	4.1 継続中(2013-2017) 4.2 継続中(-2030)	4.1 UNIDO本部によるモニタリングと評価 4.2 UNIDO及びAUC貿易産業部によるモニタリング
		アガカーン財団ネットワーク(AKDN)	4.1 東アフリカ地域における中小企業強化。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用
5	アフリカ女性のリーダーシップ、管理、起業における能力強化	日本政府	5.1 日アフリカビジネスウーマン交換プログラムの設置。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画(UNDP)	5.1 ジェンダーに配慮した経済的自立を目指す政策を支援するための知識や経験の体系化と共有、新しいモダリティ支援、及び女性の資金アクセスやビジネス開発サービスへのアクセスやスキル向上のための能力向上支援。(I 4.2, I 5.1, II 8.1, III 2.2)* 5.2 意思決定プロセスへの女性の参加を促進するガイダンスの策定。(I 4.4, I 5.2)* 5.3 環境やエネルギーに関する政策討議や各国の政策、戦略及び計画にジェンダーを反映させるためのグローバルパートナーシップの促進、強化。(I 4.5, I 5.3)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム

6	アフリカ産品の世界市場へのアクセス促進	日本政府	6.1 投資アドバイザーの派遣, 10ヶ国。(I 2.6, I 6.1, I 7.3)* 6.2 アフリカ観光促進イベントを開催, 10回。(I 2.8, I 6.2)* 6.3 貿易フェア, セミナー, 専門家派遣を通じたローカル輸出産業の支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	6.1 SS-GATEを通じた, 途上国の包括的発展のための技術, 資産, サービス及び資金の取引を支援するプラットフォームによる途上国の支援。(I 4.6, I 6.1)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		世界貿易機関 (WTO)	6.1 アフリカ諸国のWTO加盟に向けた技術支援の提供。 6.2 アフリカ諸国におけるWTOリファレンス・センターの設置及び改善支援。 6.3 アフリカにおける多国間貿易に係る事項に関する人材育成及び関連機関の能力向上。 6.4 WTO及び在寿府代表部におけるインターンシッププログラムを通じたアフリカ諸国の貿易担当官の人材育成。 6.5 アフリカにおける貿易のための援助のモニタリング・評価支援。 6.6 アフリカ諸国に対する貿易のための援助関連支援(2013年7月の貿易のための援助第4回グローバル・レビューを含む)	2013-	結果重視マネジメント(RBM)を含むWTOのフォローアップメカニズムを通じモニタリング・評価を実施
7	制度強化のための能力向上支援及び成長加速, 開発持続, 貧困削減に資する分野における研修強化	日本政府	7.1 TICAD産業人材育成プログラム: TICAD産業人材育成拠点を10ヶ所設け, カイゼンを含む産業人材育成支援を25ヶ国, 30,000人以上を対象に実施。「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」を立ち上げ, 1,000人を日本に招聘。(I 4.2, I 7.1, II 8.1)* 7.2 アフリカ諸国における生産性向上推進機関のネットワーク化。 7.3 投資アドバイザーの派遣, 10ヶ国。(I 2.6, I 6.1, I 7.3)* 7.4 観光従事者の人材育成, 700人。(I 2.7, I 7.4)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	7.1 持続的で包括的な生産能力の構造的な転換を実現するためのリージョナル・サブリージョナルな仕組みや機関への支援。 7.2 税収の効率的な開発目的への使用及び途上国の視点を国際的税制基準・慣行に反映させる事等を通じた, 国内資産の動員に関する成功例の共有。 7.3 途上国パートナーと連携しての, 雇用問題, 持続的な資源管理, 及びエネルギー問題への革新的な取り組み, 持続可能な政策, 制度を特定, 開発, 実証, 評価, 促進するためのグローバル及び地域間の協力ネットワークの開発及び確立支援。(I 7.3, II 2.1, III 2.3)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		アフリカ担当事務総長特別顧問事務室 (UNOSAA)	7.1 AU/NEPADに対して国連システムにより提供される支援を概説する事務総長報告作成のコンサルティングと準備。 7.2 事務総長報告「NEPAD:実行と国際支援の進捗」作成のコンサルティングと準備。 7.3 NEPAD優先プログラムにより定義されるアフリカの開発ニーズに関する年次政策シリーズ。	2013-2017	年次報告
		国際通貨基金 (IMF)	7.1 アフリカ地域における, 政策対話及びマクロ経済状況を通じた政策提言。 7.2 アフリカ地域におけるマクロ経済と構造政策及び, 制度立案に関する能力開発。	継続中	内部モニタリング・評価及び外部評価の併用
		国連貿易開発会議 (UNCTAD)	7.1 後発開発途上国(LDC)の貿易・開発計画担当機関の能力向上を通じた貧困削減に資する貿易政策の立案支援。 7.2 アフリカを含む途上国におけるFDI統計の収集, 報告に関する能力強化のためのFDI統計整備に向けた技術支援。 7.3 アフリカ諸国に対する能力強化ワークショップの実施。	7.1 2013-2015 7.2 継続中 7.3 加盟国からの要請に応じて実施	報告書等を通じたUNCTADによるフォローアップ
		フランス語圏諸国共同体 (OIF)	7.1 文化活動の専門化に対する支援(書籍, 視覚作品, 舞台作品)及び芸術家の創作活動に対する支援(ECOWAS加盟国及び北アフリカ)。	2015	完成作品及び供与された資金によるモニタリング及び評価

注: 具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注: フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し, アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注: *再掲

別表テンプレート

II インフラ整備・能力強化の促進

成果目標	現状(2013年現在)	成果(2017年現在)
(1) インフラ整備に対する投資額の増加 (2) 科学研究及び技術移転の促進 (3) 大学の卒業生数及び技術・職業教育・訓練(TVET)の研修員数の増加	TICADプロセスはアフリカ大陸におけるインフラストラクチャーの加速と能力開発を支援することを目指している。第二の柱における成果目標は、a)インフラストラクチャー開発の促進、b)科学的な研究と技術移転の促進、c) 大学卒業生と職業技術教育・訓練の数の増加である。 現在、アフリカのインフラストラクチャーは絶対的に不足し費用がかかり、大陸間のインフラストラクチャー開発の差を埋めることは成長と開発の継続に不可欠である。アフリカ大陸におけるおよそ6億人が電気へアクセスできていない。政府や教育機関によると、科学技術の重要性が増す一方、アフリカ大陸での科学、技術、工学、数学分野(STEM)での高等教育は全体の25%にすぎない。女性は特に過小評価されている。さらに、民間企業との研究ベースでのつながりはほぼすべての国において希薄である。	一年間の進捗は、年次進捗報告書によってTICAD V関係会合にてレビューされる。2017年現在の成果は、次のTICADにて報告される。

TICAD Vが支援するアフリカの取組	実施主体	活動／イニシアティブ(要約)	実施期間(想定)	モニタリング方法
1 都市及び地方の基幹インフラの開発。特に、手ごろな価格、信頼でき、かつ持続可能な電力インフラ、水インフラ、広域的な輸送回廊開発及び経済発展に必要なITC、大規模インフラプロジェクトにおける官民連携(PPP)等を通じた民間セクターの関与の促進。	アフリカ連合委員会、NEPAD、アフリカ開発銀行、地域経済共同体	1.1 アフリカインフラ開発プログラム(PIDA)の優先行動計画(PAP)の実施。 (a) 事前に必要な施策の実施。i) IAIDAガバナンス構造の稼働、ii) PAP実施関係者を支援するための能力構築プログラムの実施、iii) PIDAコミュニケーション戦略及びPIDA仮想情報センターの実施、iv) 情報・データベース・モニタリング及び評価の開発、v) PAP推進のための個々のプロジェクトのデータ収集及び写真真策定に必要な作業の精緻化、vi) PIDA実施における民間セクターの関与の促進。 (b) 輸送のミッシングリンク及びICTインフラプロジェクトの実施の促進：輸送回廊開発、国境のICTリンク化の開発。 (c) 共通運輸政策採択の促進。環アフリカ高速道路のための基準及び単一アフリカ航空市場に向けた法整備などの戦略及び規制枠組み、回廊輸送円滑化プログラム。 (d) 電力インフラ及びアクセス開発の促進：アフリカ電力情報システム及びデータベース。 1.2 アフリカ人口の大多数のための近代的な電力サービスアクセスの促進。 (a) 再生可能エネルギーその他の電力資源開発の加速化。 (b) 広域的及び大陸規模のクリーン発電及び送電プロジェクトの推進：水力発電2020イニシアティブ及びAUバイオエナジープログラムが実施中。 (c) 再生可能エネルギー(地熱、水力、太陽光・熱、バイオエナジー及び風力)の開発：500億ユーロ地熱リスク軽減ファシリティーを使って太陽光・熱発電プログラム実施を支援。 1.3 大陸規模での統合推進のための政策及び水準 (a) 電力、輸送、ICTに関する広域及び大陸プログラム支援のための政策・ガイドラインの推進：サイバーセキュリティ会合の開催、統合ICT戦略計画の策定、アナログ放送から地上デジタル放送への切り替え、海上輸送憲章の批准。	2014-2017	1.1 AUCによる進捗報告とモニタリング及び評価報告 1.2 AUC進捗報告 1.3 環アフリカ高速道路進捗報告及び2014年AU総会宣言
2 アフリカのビジネスのための人材育成促進のための職業技術教育・訓練センターの強化	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	2.1 2013アフリカ職業技術教育・訓練(TVET)戦略の実施のため、広域及び国家レベルで技術支援を提供。 2.2 若者の雇用のためのマラボ宣言のTVETに関する部分の実施。 2.3 加盟国の施策の進捗のモニタリングと報告。 2.4 10カ所のTVETレファレンスセンターを特定し、ピアレビューや成功事例の推進のためのメカニズムとしてこれらセンターの能力を強化。 2.5 紛争終結国家のTVETセンターの能力強化。	2014-2017	TEVT戦略モニタリング及び報告メカニズム
3 政策実施における若者の主流化	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	3.1 若者に関するプログラム及び政策開発の能力強化のため、若者担当省庁の設置。 3.2 アフリカ青年憲章及び改正若者の10年行動計画に沿った広域レベル大陸レベルでの政策の調和。 3.3 アフリカ青年憲章及び改正若者の10年行動計画実施のための加盟国への技術支援の提供。 3.4 全てのAUCプログラム及び活動における若者の主流化に焦点をあてた若者開発協定の策定及び実施。 3.5 アフリカ青年憲章及び改正若者の10年行動計画実施の加盟国における進捗状況のモニタリング及び報告。 3.6 若者を念頭に置いた 総会決定や宣言の実施の支援及び進捗の報告。 3.7 国際場裏の中でのアフリカの若者の地位の強化。	2014-2017	アフリカ青年憲章の指標を用いながら同憲章及び改正若者の10年行動計画の実施のモニタリング及び評価 若者開発協定に基づく実施のフォローアップ

4	若者の雇用及び起業に関する革新的なプログラムの強化	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	4.1 アフリカ連合青年起業家戦略の実施。 4.2 専門的技術・知識を持った若者の雇用適性向上のためのメカニズムとしての専門青年ボランティアを推進するアフリカ連合青年ボランティア隊の強化。	2014-2017	アフリカ連合青年起業家戦略のモニタリング及び報告メカニズム、アフリカ連合青年ボランティア隊の評価
TICAD Vの重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ(要約)	実施期間(想定)	モニタリング方法
1	都市部及び地方部の双方における基幹インフラ整備(特に経済成長に必要な安価で信頼性の高い持続可能なエネルギーインフラ、水インフラ、広域運輸回廊開発及び情報通信技術)。官民連携(PPPs)などを通じた民間セクターの大型インフラプロジェクトへの関与の促進	日本政府	1.1 公的資金による支援約6,500億円(65億ドル)実施(ODA中心、一部OOF)。 1.2 低炭素エネルギー供給及びエネルギー活用効率化支援、約2000億円(約20億ドル)。 1.3 成長回廊(回廊を軸とした地域総合開発)整備支援(道路と港湾を含む)、5地域以上。 1.4 戦略的マスタープラン策定、10か所。(II 1.4, IV 4.2)* 1.5 広域電力網整備支援。 1.6 日本方式の地デジ導入等ICTインフラ支援。 1.7 ビジネス・マッチングや情報提供を通じたアフリカのインフラ開発支援。 1.8 JBICにアフリカ貿易投資促進ファンシリティを設け、50億ドル規模の出融資・保証を実施。(I 1.5, I 2.9, I 3.4, II 1.8, IV 8.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	1.1 地域間及び国家間の複合輸送インフラネットワークの開発、修復、管理の支援。 1.2 IFCのインフラプログラムに対するインフラベンチャー・特別イニシアティブの拡大。	継続中	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画(UNDP)	1.1 活発な官民連携やアフリカ内外での技術、技能の移転促進。 1.2 産業開発、インフラ整備及び包括的なグリーン成長に関する政策、戦略の調和化支援。(I 2.1, II 1.2)* 1.3 制度、技術、財政的パートナーシップモデル及びマルチファンクションプラットフォームの開発を含む、(エネルギーアクセスが不十分なコミュニティ、グループ及び女性に着目した)包括的かつ持続的な対策を通じたエネルギー効率の向上、新エネルギーへのユニバーサルなアクセスへの支援。(II 1.3, II 2.3, IV 8.1)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		経済協力開発機構(OECD) NEPAD-OECDアフリカ投資イニシアティブ	1.1 インフラ投資のための枠組みの審査及び改革に係るアフリカ諸国の取組の促進。 1.2 アフリカのインフラ市場により多くの民間の参加を促すための成功事例を特定し共有。 1.3 NEPAD-OECDアフリカ投資イニシアティブによって実施される官民連携(PPP)の設計と実施に関する国家レベルでの訓練プログラムを通じたアフリカ各国政府の官民連携実施能力強化。	2012-2014	1.1及び1.2 特定の開発途上・新興国の文脈に沿った各種政策ツールの良好な適用。今後予定されているOECD「投資のための政策枠組み」改訂における各種政策ツールの有効性の確認 1.3 官民連携訓練ワークショップの効果は、ワークショップ前後に参加者に対して行ったアンケートにより評価
		国際海事機構(IMO)	1.1 港湾開発。輸出入手続きの簡易化・港湾施設のキャパシティ拡大。	2013-2023(仮)	通関時間の短縮、遅延の解消、より大きな船の入港の実績によるモニタリング及び評価
2	持続可能な都市開発への支援	日本政府	2.1 都市化進展に伴う課題への対応支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	2.1 数カ国で「設計・建設・運営・維持・移転」に関する長期の資産管理プログラムの準備・実施のための支援。	継続中	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画(UNDP)	2.1 途上国パートナーと連携しての、雇用問題、持続的な資源管理、及びエネルギー問題への革新的な取り組み、持続可能な政策、制度を特定、開発、実証、評価、促進するためのグローバル及び地域間の協力ネットワークの開発及び確立支援。(I 7.3, II 2.1, III 2.3)* 2.2 都市ガバナンス・開発のための新しい取り組みやモデルの形成。 2.3 制度、技術、財政的パートナーシップモデル及びマルチファンクションプラットフォームの開発を含む、(エネルギーアクセスが不十分なコミュニティ、グループ及び女性に着目した)包括的かつ持続的な対策を通じたエネルギー効率の向上、新エネルギーへのユニバーサルなアクセスへの支援。(II 1.3, II 2.3, IV 8.1)* 2.4 SS-GATEの一環であるSouth-South Global Health Exchange (SS-GHX)を通じた、グローバルヘルスに関する対策、慣行及び取り組みへのアクセス支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム

3	特に科学及び工学分野における高等教育の推進	日本政府	3.1 汎アフリカ大学構想(PAU), エジプトのE-JUST等を通じた高等教育の拠点支援。(II 3.1, II 6.1, II 7.3)* 3.2 国費留学生受け入れ, 5年間で800人を対象。(II 3.2 II 7.2, V 1.2)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	3.1 選択国において, 設備機器その他による高等エンジニアリング教育に対する支援。中等教育及び高等教育に対し, 年平均1億5,000万ドルの投資を実施。 3.2 7カ国18の卓越した研究拠点を通じ, 西アフリカ, 中央アフリカにおいて高等教育・科学・テクノロジーを支援。 3.3 東部, 南部アフリカにおいても同様のプロジェクトを支援。	2014-2017	プロジェクトのモニタリング, 報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国際海事機構(IMO)	3.1 アフリカの大学における海事関連, 特に海事技術の促進。 3.2 将来のビジネスのリーダーの海事部門の機会の認識強化。	2013-2018(仮)	卒業生数の実績によるモニタリング及び評価
4	雇用に繋がる高度なスキルを提供する技術・職業教育・訓練(TVET)の促進	日本政府	4.1 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	4.1 最低でも18カ国において, 技術・職業訓練に対して年平均1億ドルを投資する。IFCの中小企業向け民間部門職業訓練投資を拡大。	2014-2017	プロジェクトのモニタリング, 報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
5	必要な能力開発の取組を通じた公共セクターにおける人材育成の促進	日本政府	5.1 貿易投資促進に資するアフリカ政府人材育成。1,000人(税関職員, 産業振興担当者, 貿易担当者, 投資関連省庁担当者等)。(I 1.1, II 5.1)* 5.2 低炭素・高効率エネルギー分野で200人, 運輸交通分野で450人の人材育成実施。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画(UNDP)	5.1 開発協力の運営に関するアフリカ諸国の南々・三角協力担当者の能力向上支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		世界貿易機関(WTO)	5.1 WTO及び在寿府代表部におけるインターンシッププログラムを通じたアフリカ諸国の貿易担当官の人材育成。 5.2 アフリカにおける多国間貿易に係る事項に関する人材育成及び関連機関の能力向上。 5.3 貿易関連技術支援の提供, 国内及び地域レベルでのトレーニングの実施。	2013-	結果重視マネジメント(RBM)を含むWTOのフォローアップメカニズムを通じモニタリング・評価を実施
		国連大学(UNU)	5.1 アフリカにおける持続可能な開発のための教育(ESDA):アフリカにおける持続可能な開発のための指導者の育成。	2008-(継続中)	8つのアフリカの提携大学及び国連大学の代表からなるESDAコンソーシアムによるモニタリング及び評価
		国連地域開発センター(UNCED)	5.1 アフリカの計画責任者の地域開発政策や戦略をより効果的に準備し実施する能力の向上。	2013-2017	UNCRD及びアフリカ能力開発研究所(AICAD)によるモニタリング及び評価
		世界関税機構(WCO)	5.1 職員の汚職対策や規律向上のための税関当局の能力向上。	2013-2017	進捗状況の定期的なレビュー
		国際海事機構(IMO)	5.1 アフリカの学生のための世界海事大学と国際海事法研究所で研究するための奨学金。 5.2 海事機関の効率向上及び世界標準の理解促進。	2013-2018	コース修了者数の実績によるモニタリング及び評価
6	科学技術分野における機関, 制度及びすべての関係者とのパートナーシップの構築及び強化	日本政府	6.1 汎アフリカ大学構想(PAU), エジプトのE-JUST等を通じた高等教育・研究機関の拠点支援。(II 3.1, II 6.1, II 7.3)* 6.2 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)* 6.3 日・アフリカ間の国際共同研究の推進及び日・アフリカ間の研究者及び学術機関間の学術交流の促進。 6.4 科学技術大臣会合も含めた日・アフリカ間の政策対話の開催。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連大学(UNU)	6.1 共同研究及び能力開発:(i)東アフリカの政策展開における科学的見解に基づく意思決定プロセスの強化, (ii)国境を越えた生物多様性のモニタリングや評価のための情報管理システムの構築, (iii)東アフリカの現地の科学者や政府職員の能力を育成。 6.2 持続可能な開発のための教育(ESD)イニシアティブに関する地域拠点(RCE)によるESD推進。 6.3 アフリカ地域拠点の能力開発及び革新的な学習, ネットワーク管理, 協力パートナーシップ及び研究という4つの重要分野におけるモジュールの開発及び実施。	6.1 2013-2018 (フェーズ1) 6.2及び6.3 2005-	6.1 パートナー機関や将来資金提供を行う機関からなる運営委員会を通じたモニタリング及び評価 6.2及び6.3 拠点増加によるRCEネットワークの拡大及びRECの年次レポート及びRCEアセスメントの質的調査によるモニタリング及び評価

		アガカーン財団 ネットワーク(AKDN)	6.1 様々な分野の専門職大学院への支援。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用
7	科学・技術・工学・数学(STEM)分野の指導と学習の強化	日本政府	7.1 以下を通じて新たに2,000万人の子供に対して質の高い教育を提供。(II 7.1, V 1.1) ①理数科教育の拡充支援 ②学校運営改善「みんなの学校」プロジェクトの拡充 ③学力試験改善支援 ④小中学校および教員養成校の建設及び教室整備 7.2 国費留学生受け入れ, 5年間で800人を対象。(II 3.2; II 7.2, V 1.2)* 7.3 汎アフリカ大学構想(PAU), エジプトのE-JUST等を通じた高等教育の拠点支援。(II 3.1, II 6.1, II 7.3)* 7.4 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連教育科学文化機関(UNESCO)	7.1 持続可能な発展のための知識の醸成, 普及, 活用に資する環境の促進。 7.2 科学, 技術, 工学の知識を醸成・普及させるための組織的・人的能力の強化。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		ポルトガル政府	7.1 経済学と経営学に関する大学間の協力。	2007-2015	TICADフォローアップメカニズム
		アガカーン財団 ネットワーク(AKDN)	7.1 東アフリカにおける女子生徒の理数科教育強化, 教員養成及び学校とカリキュラムの改善。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用
8	若者の雇用及び起業に関する革新的プログラムの強化	日本政府	8.1 TICAD産業人材育成プログラム:TICAD産業人材育成拠点を10カ所設け, カイゼンを含む産業人材育成支援を25ヶ国, 30,000人以上を対象に実施。「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」を立ち上げ, 1,000人を日本に招聘。(I 4.2, I 7.1, II 8.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画(UNDP)	8.1. ジェンダーに配慮した経済的自立を目指す政策を支援するための知識や経験の体系化と共有, 新しいモダリティ支援, 及び女性の資金アクセスやビジネス開発サービスへのアクセスやスキル向上のための能力向上支援。(I 4.2, I 5.1, II 8.1, III 2.2)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連工業開発機関(UNIDO)	8.1 若年層を対象とした職業訓練及び起業家教育への投資によるアフリカの包括的かつ活気のある成長の促進。	2013-	UNIDOによるモニタリング及び評価
		国連ボランティア計画(UNV)	8.1 アフリカ青年イニシアティブの推進。 8.2 地域経済共同体を通じた地域青年ボランティアイニシアティブへの支援。	2013-2017	UNVとパートナーによるモニタリング及び評価 TICADフォローアップメカニズム
		国連貿易開発会議(UNCTAD)	8.1 アフリカを含む途上国における政策立案者に対し, 起業政策の立案及びモニタリング評価に係るツールキットの提供を通じた起業政策枠組みの普及。 8.2 民間セクターの技能問題・能力に対処するための企業訓練の提供を通じたアフリカEmpretecセンターの支援。	継続中	TICADフォローアップメカニズム
		国際労働機関(ILO)	8.1 若者の雇用の推進。	2013-2017	ILO評価政策に従ったモニタリング及び評価
		赤十字・赤新月社(RC/RC)	8.1 赤十字及び赤新月社の活動における若者のボランティアと関与を促進するメカニズムの支援。	2013-2014	国別報告書及びIFRCフォローアップ報告によるモニタリング及び評価
注: 具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。					
注: フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し, アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。					
注: *再掲					

別表テンプレート

Ⅲ 農業従事者を成長の主人公に

成果目標	現状(2013年現在)	成果(2017年現在)
<p>(1) CAADPIに掲げられている農業セクターにおける成長率6%の達成 (2) 「アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)」における取組を通じた2008年から2018年までのコメ生産量の倍増</p>	<p>農業は、アフリカにおける民間経済活動の大部分を支えており、最大の雇用創出源であり生活の源である。これを認識すれば、経済アクターの主流である農家のエンパワーメントがTICADプロセスにおいて重要である。横浜行動計画の第三の柱における成果目標はa) 農業において、包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)により提示された6%の成長率を達成 b) アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)の下で2008年の米生産レベルを2018年までに倍増することである。現在、アフリカ大陸の平均農業成長率は4%にとどまっている。アフリカ40カ国がCAADPに加盟しており、うち37カ国がコンパクトを進め、30カ国が国家農業投資計画を進めている。さらに、地域経済共同体が地域投資計画を進めている。CARDは米生産量の増加と新技術投入のため23カ国に支援を提供している。農業生産高増加の必要性は非常に高い。アフリカの食料需要の増加は世界でも最高レベルであり、2020年までは主に都市部で2倍になると予測されている。アフリカ市場は、米だけでも2025年までに80億米ドルに達すると見込まれている。しかし、アフリカにおける主要作物の収穫量は収穫可能量の2分の1から3分の1の間であり、国際競争相手より遅れをとっている。農業生産高の増加と農家のエンパワーメントはまた地方のインフラストラクチャー整備、特に農家から市場へとつなぐ副林道の改善を必要としている。</p>	<p>一年間の進捗は、年次進捗報告書によってTICAD V関係会合にてレビューされる。2017年現在の成果は、次のTICADにて報告される。</p>

TICAD Vが支援するアフリカの取組	実施主体	活動／イニシアティブ(要約)	実施期間(想定)	モニタリング方法	
1	包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)	アフリカ連合委員会、NEPAD、地域経済共同体、加盟国	<p>1.1 包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)は、農業及び農村開発の先駆けと加速化のための枠組みとして、2003年7月にマプトで開催されたAU総会にて採択された。CAADPの主な目的は、農業主導の開発を通じたアフリカ諸国の経済成長の加速化を支援することにある。それは、農産品の輸出を通じた成長だけでなく、飢餓を取り除き、貧困を削減し、食料・栄養安全保障の強化にも繋がる。以下の指針と目標は、CAADPの枠組みを定めるものである。</p> <p>(a) MDG目標1(飢餓の削減と貧困の半減)に合致する食料安全保障と貧困削減に関する目標を達成するための主な戦略である農業主導の成長。</p> <p>(b) 年平均6%の経済成長の追求。</p> <p>(c) 農業部門への国家予算の少なくとも10%の割り当て。</p> <p>(d) 成長促進のための広域的な補完・協力の模索。</p> <p>(e) 全てのNEPADプログラムで共有されている政策効果、対話、レビュー、説明責任といった指針の採用。</p> <p>(f) 農業従事者、農業関連産業、市民社会を含むパートナーシップ及び提携の利用。</p> <p>(g) 指定先の地域経済共同体の調整及びNEPADの側面支援による個別国に対する計画実施の役割と責任を支援。</p> <p>加えて、この枠組みは、アフリカの市民の生活の糧を提供する上で重要となる農業、食料安全保障及び所得創出に対処することを狙っている。アフリカ各地の技術事務所を通じて、食料安全保障とアフリカ人の生活手段の強化のための農業技術移転と開発に対処する一連の手段が確保される。</p>	2003-2015(2025年までの延長予定)	CAADP結果枠組み、相互説明責任枠組み及びCAADP年次報告書を下にモニタリングと評価
TICAD Vの重点分野	実施主体	活動／イニシアティブ(要約)	実施期間(想定)	モニタリング方法	
1	CAADPプロセスに沿い、またCARDを通じた、農業生産の増大及び農業生産性の向上	<p>日本政府</p> <p>1.1 後半5年間のCARD戦略の推進(2018年までにサブサハラアフリカのコメ生産を2,800万トンに倍増させる取り組み。国家稲作戦略及び優れた実例の普及への支援、コメ生産性向上の取組推進、小規模灌漑スキームを含む灌漑施設の整備・改修、水管理能力の強化及びそれらを推進するための人材育成及び組織強化等)。</p> <p>1.2 FAOと連携した国際農業研究協議グループ(CGIAR)を活用した品種改良等支援及び統計手法の開発支援。</p>	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価	
	世銀グループ	<p>1.1 20カ国以上での、米セクター(灌漑、技術導入、バリューチェーンの開発)での融資及び無償資金協力を実施。</p> <p>1.2 西部、東部、南部アフリカにおける米関連の研究、普及促進に関するプロジェクトを支援。</p> <p>1.3 CARDイニシアティブとの連携。</p>	2013-2017	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム、TICADフォローアップメカニズム	
	タイ政府	<p>1.1 CARDの推進。</p> <p>1.2 第三国研修を通じた農産品加工への支援。</p>	2013-2017 2013-2015	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価	

		国連世界食糧計画 (WFP)	1.1 アフリカの農業従事者への訓練と設備の提供。 1.2 小規模灌漑によるアフリカ地域の稲作の推進。 1.3 マイクロクレジット及び資金サービスへのアクセスの改善及び参加農業従事者の農業生産性の向上。	2013-2018	WFPモニタリング及び評価
		国際原子力機構 (IAEA)	1.1 不妊虫放飼法技術(SIT)を使ったツエツエ蠅の駆除支援。越境動物疾病管理の強化。穀物栄養及び土壌・水管理の強化。	2014-2017	IAEAフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国際農業研究協議グループ(CGIAR)	1.1 エバーグリーン農業の116カ国への拡大(肥料木の活用)。	2013-2023	プロジェクト毎及びTICADフォローアップメカニズムを通じモニタリング及び評価
		ポルトガル政府	1.1 食料生産強化支援。 1.2 米作開発。	1.1 2009-2015 1.2 2011-2013	TICADフォローアップメカニズム
2	自給的農業から商業的な農業への移行を促すとともに、域内の流通も含めた“farming as business”(儲かる農業)アプローチを通じ、小農(特に女性)のための市場志向型農業を促進	日本政府	2.1 小農による市場志向型農業の推進(SHEPアプローチ)の推進(10カ国に展開)。 2.2 SHEPを推進する技術指導者の人材育成(1,000人)。 2.3 SHEPを実践する小規模農家を育成及び農業団体の育成(5万人)。 2.4 専門家の派遣、農業機械化、農業生産、流通、販売技術研修。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	2.1 30以上のサブサハラアフリカの各国において、小規模農家の転換に注力した融資及び無償資金協力の実施。	2013-2017	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画 (UNDP)	2.1 ジェンダーに着目した農業投資支援のためのAU及びRECSの能力強化。(I 4.1, III 2.1)* 2.2 ジェンダーに配慮した経済的自立を目指す政策を支援するための知識や経験の体系化と共有、新しいモダリティ支援、及び女性の資金アクセスやビジネス開発サービスへのアクセスやスキル向上のための能力向上支援。(I 4.2, I 5.1, II 8.1, III 2.2)* 2.3 途上国パートナーと連携しての、雇用問題、持続的な資源管理、及びエネルギー問題への革新的な取り組み、持続可能な政策、制度を特定、開発、実証、評価、促進するためのグローバル及び地域間の協カネットワークの開発及び確立支援。(I 7.3, II 2.1, III 2.3)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連世界食糧計画 (WFP)	2.1 「アフリカのアフリカ人からの購入」を拡大。	2013-2018	WFPモニタリング及び評価
		世界貿易センター (ITC)	2.1 特定のアグリビジネスセクターの国家及び地域輸出戦略の策定支援。 2.2 一村一品のような地方経済開発計画の中で主要な貧困共同体の農業関連ベンチャーのブランド化及びマーケティングを通じた一次戦略の価値の保持の開発と実施支援。	2014-2017	ITCの結果重視マネジメント(RBM)システムを通じて実施(TICADフォローアップメカニズムと合致した形で実施)
		国連工業開発機関 (UNIDO)	2.1 アブラヤシを利用した中西部アフリカにおける所得創出の改善。	継続中, 2012-2015	UNIDOを通じたモニタリング及び評価
		経済協力開発機構 (OECD)	2.1 OECD「農業分野での投資のための政策枠組み(PFIA)を用いて、農業への民間投資のための枠組み条件の改善するアフリカ諸国の取組を支援。	2010-2014	パートナー機関及び各国政府における実施タスクフォースとコミュニケーションによる評価
		タイ政府 タイ国際協力機構 (TICA)	2.2 一村一品運動に焦点をあてた地方経済の持続可能発展に係る第三国研修。	2013-2015	タイ国際協力機構によるモニタリング・評価
3	被援助国の関係者が広く恩恵を受ける形で民間セクターの関与を促進。小農(特に女性)に十分な配慮を行い、必要なインフラ及び先進的かつ実用的な農業技術(農産物加工、収穫後の貯蔵及び市場へのアクセス改善等)を含めたバリューチェーン整備を促進	日本政府	3.1 責任ある農業投資原則(PRAI)に沿った農業開発プログラムの促進。 3.2 農村部における小規模発電、小規模農家に対する技術支援(世銀グループの信託基金を通じた5年で1億ドル相当支援の一部)。(III 3.2, V 1.4, V 3.6)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	3.1 世銀の融資における国家及び地域レベルでのバリューチェーンアプローチの主流化。 3.2 小規模農家及び女性農家に重点を置き、IFCの年度ベースでの農業向け融資を拡大。	2013-2017	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画 (UNDP)	3.1 アフリカにおける大企業と中小企業をつなぐための政策、計画及び戦略を分析、策定、調整及び提言するためのリージョナル・サブリージョナル機関の能力向上。(I 4.3, III 3.1)* 3.2 SS-GATEを通じたアフリカ諸国に対する農業分野での技術習得支援。 3.3 開発課題に関する革新的なソリューションを提供するための官民連携メカニズム・モデルの支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連貿易開発会議 (UNCTAD)	3.1 持続可能な開発のための責任ある農業投資原則の実施支援。	継続中	TICADフォローアップメカニズム

		国連世界食糧計画 (WFP)	3.1 R4は、貧困小農のための持続可能な農村保険市場の発展に向けた第一歩を以下の要素から構成する。1)条件整備及び大規模農家への保険提供のメカニズムの開発、2)保険引き渡し機構の強化、気候サービス配信のためのインフラの構築。	少なくとも2016まで	WFPモニタリング及び評価
		国連食糧農業機関 (FAO)	3.1 選定されたコモディティー群におけるバリューチェーン構築のための農業従事者市場連携の強化。 3.2 RECsを通じた主要作物に係る広域貿易の奨励。 3.3 CAADP枠組みの下での民間セクター投資の促進。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
4	気候変動による自然災害の増加に対し、適切な土地保全、水管理や政府及びコミュニティレベルの能力強化による災害に強靭なインフラ開発を含め、農業及びコミュニティの強靭性を強化し、国の食料及び栄養安全保障を確保	日本政府	4.1 気候変動等に対応するための農業の強靭性強化支援。 4.2 干ばつ等の自然災害に影響を受ける地域(アフリカの角やサヘル等)の強靭化支援。 4.3 気候変動緩和・適応に資する農業関連技術のアフリカとの共同開発。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	4.1 牧畜及び灌漑のためのサヘル連合を支援。(ブルキナファソ、マリ、モーリタニア、ニジェール、セネガル)。 4.2 アフリカの角の半乾燥地域における強靭性を高める融資及び無償資金協力の実施。(ジブチ、エリトリア、エチオピア、ケニア、ソマリア、南スーダン、スーダン、ウガンダ)。 4.3 10カ国における栄養向けの融資の実施。最低12カ国での年平均5,000万ドルの食料と栄養の安全保障に対する投資の実施。	2013-2017	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画 (UNDP)	4.1 リージョナル、サブリージョナル、国レベルの開発計画、セクター計画・政策への支援を含むMDG加速フレームワークへの支援の促進。(III 4.1, V3.1)* 4.2 災害・気候リスク管理への効果的で協調的な対策の分析、策定、実施能力の向上支援。(III 4.2, IV 4.1)* 4.3 気候変動による影響を軽減する技術の開発を通じた、リベリアにおける米及び野菜の国内生産と競争力の向上支援。 4.4 1)開発におけるジェンダーに配慮した災害・気候リスク管理の統合に関する政策ガイドの作成、2)国及び地方レベルにおけるマルチハザード災害・気候リスク評価の手法及びガイドの作成、3)標準的な損害及び損失の算定システムに関するコーポレートガイドの策定、を含む災害・気候のリスク削減のための革新的で新しい仕組みや手法の実証、展開。(III 4.4, IV 3.1, IV 13.2)* 4.5 特に近東及び北アフリカに焦点をあてた、南々協力・三角協力を通じたより強固な食料・水の安全保障及び地方部における貧困削減を含む農業開発支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連ボランティア計画 (UNV)	4.1 国連ボランティアを通じた食料安全保障、環境、天然資源管理支援。	2013-2017	UNV及びパートナーを通じたモニタリング及び評価
		赤十字・赤新月社 (RC/RC)	4.1 IFRCアフリカ食料安全保障枠組みの下での活動。	2013-2017	四半期報告、年次報告及び中間レビュー
		国際赤十字・赤新月社国際連盟 (IFRC)	4.1 西アフリカ及び東アフリカのための強靭化イニシアティブ。 4.2 食料安全保障におけるパートナーシップの強化。	2013	年次報告
		国連砂漠化対処条約 (UNCCD)	4.1 AUC土地政策イニシアティブの効果的な協力を通じた土地収奪に関する国における土地資源管理及び土地配分システムの強化。	2013-2019	UNCCDモニタリング・評価フレームワークの実施
		国際農業研究協議グループ (CGIAR)	4.1 アフリカ向け干ばつ耐性のあるメイズの13カ国での普及。	2013-2023	プロジェクト毎及びTICADフォローアップメカニズムを通じたモニタリング及び評価
		国連世界食糧計画 (WFP)	4.1 セーフティーネット、資産創造を通じたショックからの共同体の強靭性の強化及び防災とリスク軽減計画の策定と管理能力の強化を目的としたアフリカの強靭性構築プログラム。 4.2 管理(リスク軽減)、マイクロクレジット(堅実なリスク負担)、保険(リスク移転)、貯蓄(リスク引当)といった改善された資源を組み合わせを通じて、途上国の貧困農家及び貧困農村が天候変更に際した時の食料・所得安全保障の強化を可能とするためのR4。	4.1 5年以内の実施 4.2 少なくとも2016まで	4.1 WFPモニタリング及び評価 4.1 WFPモニタリング及び評価、独自の評価
		国連食糧農業機関 (FAO)	4.1 広域食料安全保障管理の強化。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
5	価格の乱高下及び市場の失敗に対処するリスク緩和のための取組の支援(保険、貯蔵、情報システム、貿易政策等)	世銀グループ	5.1 リスク緩和のための政策改革に対する融資の実行。	2013-2017	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画 (UNDP)	5.1 天候インデックス保険を含む気候変動適応及びリスク管理への支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム

6	農業に従事する女性のエンパワメントのための他の取組に加え、「農業、食料安全保障及び環境」のテーマの下、アフリカの女性によるプロジェクト及びイニシアティブの支援を可能にするアフリカの女性のための基金(Fund for African Women)の財政及び技術的能力を強化	世銀グループ	6.1 世銀グループの大多数のオペレーションにおいて、ジェンダーの観点を女性の参加を促進するための主流化。	2013-2017	プロジェクトのモニタリング、報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		世界貿易センター (ITC)	6.1 輸出競争力のあるビジネス経営のための能力提供を通じたアグリビジネス輸出バリューチェーンでの女性の地位の強化。 6.2 融資可能な開業準備のための訓練を通じた資金アクセスにおける女性起業家の能力強化。 6.3 BtoBビジネスにおける女性生産者と多国籍企業との橋渡し。	2014-2017	ITCの結果重視マネジメント(RBM)システムを通じて実施 (TICADフォローアップメカニズムと合致した形で実施)
7	女性及び若年層の雇用創出及び食料安全保障、貧困削減を確保するため、漁業及び養殖業を支援	国連開発計画 (UNDP)	7.1 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連食糧農業機関 (FAO)	7.1 養殖増産のための持続的な養殖業の推進。	2008-2018	TICADフォローアップメカニズム
8	その他の取組	国連世界食糧計画 (WFP)	8.1 セーフティーネットプログラム及び状況に応じた輸送手段選択のための制度的能力向上。 8.2 人道支援、セーフティーネット、家計支援を通じての緊急食糧不安への短期対応。	2013-2018	WFPモニタリング及び評価
		国連食糧農業機関 (FAO)	8.1 アフリカにおける飢餓撲滅のための新たなパートナーシップ。 8.2 農村地域における雇用世代のための社会保護政策枠組みの推進。	2014-2017	国別結果枠組みの合意
		ポルトガル政府	8.1 農村開発の国家計画支援。	2006-2013	TICADフォローアップメカニズム
注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会、地域経済共同体、アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。					
注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。					
注:*再掲					

別表テンプレート

IV 持続可能かつ強靱な成長の促進

成果目標	現状(2013年現在)	成果(2017年現在)
<p>(1) 森林及び土地管理の改善を通じた森林減少の抑制 (2) 気候変動適応プログラムへの投資増加 (3) 再生可能エネルギーへのアクセス向上 (4) 防災研修員数の増加 (5) 国家開発計画に防災を主流化する国の数の増加</p>	<p>アフリカ大陸全体の気候変動が深刻な中でTICADプロセスにおいては、災害のリスクを縮小し、気候変動への適応に基軸をおいた安定的で強靱な成長の促進が求められている。また、TICADプロセスは天然資源の安定的な管理と生物多様性の保全を促進する。以上の背景より、横浜行動計画 2013-2017では5つの成果目標が提示されている。すなわち、a) 森林と土地管理の改良を通じた森林減少の削減 b) 気候変動適応プログラムの推進、c) 再生可能エネルギーへのアクセスの向上 d) 災害対策訓練数の増加 e) 国家開発計画において主流となっている災害対策戦略をとる国家数の増加、である。 アフリカ数カ国のデータによると、森林被覆度は減少しており、森林減少は危険な速度で進んでいる。アフリカ大陸は、アフリカの地域社会が木材、生活場所、農業改良などを求めて森林地帯に浸食するなど、多くの困難な課題に取り組んでいる。近年では、浸食が広がり、一部の国では森林地帯が投資目的で失われている。以上の課題を解消するため、アフリカの国々は安定した森林政策、管理プログラム、適切なスタッフと財政機構、森林依存と森林への浸食を削減するための多様な経済体系が必要である。 気候変動の緩和に関しては、アフリカの国々の二酸化炭素排出量は世界的な排出量のごく一部である。しかし、現在から将来にわたる気候変動緩和に関する国際的な義務は、低炭素、低消費エネルギー、クリーンテクノロジーといった「環境に優しい」道をとるための機会を提供するものである。気候変動に適応するための投資の増加は、災害リスクの削減やリスク管理などを含め重要であり、これはまたアフリカにおける食料安全保障を促進するためにも重要である。 最後に、人口の急激な増加により、2030年までには電気へのアクセスのない人口が6億5500万人に上ると推定されている。これにより3900億米ドルがサブサハラアフリカでの電気への統合的なアクセスのために必要であり、これに加えてクリーンクッキングを提供するためにはさらに200億米ドルが必要となると推定される(IEA 2011)。効果的にエネルギーへのアクセスを拡大するためには、エネルギーソリューションの中心と周辺の間には適正なバランスが必要であり、これには財政的・人的資本が求められる。</p>	<p>一年間の進捗は、年次進捗報告書によってTICAD V 閣僚会合にてレビューされる。2017年現在の成果は、今回のTICADにて報告される。</p>

TICAD V が支援するアフリカの取組	実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法	
1	災害危機管理	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	1.1 持続可能な開発の重要な一部として防災の実施を加速化し拡大するための能力開発を通じ、または防災のためのアフリカ地域戦略及び強靱性を達成する関連行動計画と一致することで、国民意識と政治的コミットメントを高める。 1.2 手段、メカニズム、政策、戦略、計画及びプログラムを、分野別の開発計画で防災を主流化するために導入する。リスク評価の実施や災害損害データベースの構築のためのメカニズムを開発する。 1.3 都市部を含む広域的、準広域的及び国家レベルの防災のための調整メカニズムを強化する。 1.4 防災のためのポスト2015枠組みの実施及び防災のためのポスト2015枠組みに対するアフリカポジション(防災、環境、ポスト2015年開発アジェンダの統合を側面支援するための中でも特に重要な焦点を持つ)の進展に対する支援を行う。	2014-2017	国連防災戦略(UNISDR)とアフリカ連合委員会を通じたモニタリング
2	気象学	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	2.1 政治的支援及び国立気象水文サービス及び関連する地域気候センターの認識の拡大。 2.2 持続可能な開発のための天候及び気候サービス発信の強化。 2.3 特に海事及び航空部門のための気象サービスのアクセス改善。 2.4 気候変動適応・緩和のための天候及び気候サービス提供支援。 2.5 関連機関とのパートナーシップ及び資金メカニズムの強化。	2014-2017	アフリカ連合及び世界気象機関(WMO)を通じたモニタリング アフリカ気象担当閣僚会合(AMCOMET)メカニズムを通じたモニタリング
3	気候変動	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	3.1 アフリカ開発のための気候情報プログラムの実施。 3.2 アフリカ大陸の気候に関連する全ての事項については、2009年にアフリカ連合によって権限を付託されたアフリカ環境大臣会合(AMCEN)及びアフリカ交渉団(AGN)に導かれ、政治的リーダーシップが与えられる。 3.3 地域経済共同体及び加盟国に関連する気候変動問題を側面支援するための気候変動砂漠化ユニットの設置。 3.4 アフリカ環境大臣会合(AMCEN)、AU総会及びファストトラックインプリメンテーションによる2009年AU総会決議に従って、アフリカ気候変動戦略の策定及び承認のための支持獲得。	2014-2017	アフリカ連合、アフリカ開発銀行、国連アフリカ経済委員会モニタリングシステムを通じたモニタリング アフリカ環境大臣会合メカニズムを通じたモニタリング

4	森林、生態系及び土地管理	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、加盟国	4.1 加盟国の持続的な森林管理の促進。 4.2 能力強化のため、中央アフリカ森林協議会 (COMIFAC)、アフリカ森林フォーラム、FAO アフリカ地域オフィス、国際森林研究センター (CIFOR) といった地域機関との協働。 4.3 統合土地管理のためのサハラ及びサヘル地域の緑の長城イニシアティブの実施。 4.4 国際砂漠化対処条約 (UNCCD) の国別行動計画の主流化による UNCCD 10 年計画を実施する加盟国への支援。 4.5 UNCCD のアフリカ交渉団への訓練の実施。 4.6 持続可能な土地管理及び環境管理全体を支持するアフリカ環境デーの調整と組織化。	2014-2017	アフリカ連合、アフリカ開発銀行、国連環境計画 (UNEP) を通じたモニタリング アフリカ環境大臣会合メカニズムを通じたモニタリング
TICAD V の重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	環境政策の立案及び環境技術分野における人材育成及び取組の促進	日本政府	1.1 環境気候変動に関する人材育成(2,000人)。(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1, IV 8.1)* 1.2 「TICAD低炭素成長・気候変動に強靱な戦略」の策定及び戦略に基づく支援 1.3 34か国における TREES-イニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)* 1.4 低炭素成長の実現のための二国間オフセットクレジット制度の普及促進。	2013-2017	TICAD フォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	1.1 より統合された意思決定に向けた気候に関する情報システムの強化支援。(IV 1.1 IV 6.1)*	2013-2017	TICAD フォローアップメカニズム
		国際原子力機構 (IAEA)	1.1 地球温暖化の関連で原子核及び同位体を用いた海産物の安全及びセキュリティのリスク評価支援。	2014-2015	IAEA フォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連食糧農業機関 (FAO)	1.1 農業分野におけるグリーン成長の促進。	2014-2017	TICAD フォローアップメカニズム
2	多様な生物の持続可能な利用と土地及び森林資源の管理の促進	日本政府	2.1 34か国における TREES-イニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)*	2013-2017	TICAD フォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	2.1 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関するプロセス支援。 2.2 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2013-2017	TICAD フォローアップメカニズム
		国際熱帯木材機関 (ITTO)	2.1 衛星やレーダー画像の活用による国境を跨ぐ保護地域の拡充を通じたコンゴ流域での生物多様性の保全の促進 (TREES-イニシアティブへの貢献)。 2.2 統合された ITTO とアフリカ木材機関 (ATO) の原則・基準・指標 (PCI) の活用を通じたアフリカの森林の持続可能なマネージメントの促進 (TREES-イニシアティブへの貢献)。	2013-2016	2.1 TICAD フォローアップメカニズム、ITTO・CBD イニシアティブ、並びに ITTO の通常のモニタリング・評価手法を通じ評価。 2.2 TICAD フォローアップメカニズム、並びに 2016 年の ITTO 熱帯林経営の現状に関する国別報告を含む ITTO の通常のモニタリング・評価手法を通じ評価。
3	持続可能な土地管理並びに干ばつ対策及び砂漠化対処に関するアフリカの計画への有効的な支援	日本政府	3.1 34か国における TREES-イニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)*	2013-2017	TICAD フォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	3.1 1) 開発におけるジェンダーに配慮した災害・気候リスク管理の統合に関する政策ガイドの作成、2) 国及び地方レベルにおけるマルチハザード災害・気候リスク評価の手法及びガイドの作成、3) 標準的な損害及び損失の算定システムに関するコーポレートガイドの策定、を含む災害・気候のリスク削減のための革新的で新しい仕組みや手法の実証、展開。(III 4.4, IV 3.1, IV 13.2)*	2013-2017	TICAD フォローアップメカニズム
		国連砂漠化対処条約 (UNCCD)	3.1 アフリカにおける砂漠化対策に向けた国家行動計画の実施支援。 3.2 サヘル地域の15か国とアフリカの角地域に対する干ばつ政策への準備支援。 3.3 国連環境計画、アフリカ連合委員会、NEPAD との協力の下、アフリカの持続可能な土地管理及び砂漠化に関する旗艦プログラムの開発と実施支援。 3.4 砂漠化対処に関する行動計画の実施に必要な技術移転支援 (UNCCD グローバルメカニズム)。 3.5 国別行動計画の実施に向けた個別国の資源を増加するための支援 (UNCCD グローバルメカニズム)。	2013-2018	UNCCD モニタリング・評価フレームワークの実施
		国連世界食糧計画 (WFP)	3.1 サヘル地域及びアフリカの角地域における土地管理資産創造プログラムを通じて砂漠化と干ばつ対処に取り組む国家計画の実施に向けた支援。	国に応じて、少なくとも次の5年間	WFP モニタリング及び評価
		世界気象機関 (WMO) 国連食糧農業機関 (FAO) 国連砂漠化対処条約 (UNCCD)	3.1 国家干ばつ政策の立案、実施。	2013-2017	パートナー機関の年次計画・レビューサイクルに沿って、TICAD フォローアップメカニズム及び定期的な独自レビューを通じたモニタリング及び評価。

4	世界防災閣僚会議in東北で採択された「21世紀型の防災」の下、開発における防災の主流化、総合的な防災対策の推進	日本政府	4.1 環境気候変動に関する人材育成(2,000人)。(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1, IV 8.1)* 4.2 戦略的マスタープラン策定, 10か所。(II 1.4, IV 4.2)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	4.1 災害・気候リスク管理への効果的で協調的な対策の分析, 策定, 実施能力の向上支援。(III 4.2, IV 4.1)* 4.2 国と地方レベルでの開発計画プロセスへDRRを主流化するための能力強化支援。 4.3 地域経済共同体及びアフリカ連合の部門的地域政策へのDRR主流化と, 気候変動適応とDRRの連携強化に関する能力強化。 4.4 2015アジェンダに関する主要な関係者との対話の調整及び促進。 4.5 国および地方レベルでの持続可能性とジェンダーに配慮したリスク対策の統合を支援する政策, ガイドンスの作成。(IV 4.5, IV 6.3, IV 7.5)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連ボランティア計画 (UNV)	4.1 国連ボランティアによる災害リスク削減の支援。コミュニティレベルでの強靱性と防災の備えのメカニズム。	2013-2017	UNVとパートナーによるモニタリング及び評価 TICADフォローアップメカニズム
		国際赤十字・赤新月社国際連盟 (IFRC) 北アフリカ	4.1 コミュニティベースでの防災支援(開発のための特定の赤十字・赤新月社の貢献の強化)。 4.2 国家社会災害対応及び災害対策の拡大に向けた行動。	2013-2017	IFRCフォローアップ及び報告
		国際赤十字・赤新月社国際連盟 (IFRC) アフリカ・オフィス	4.1 コミュニティベースでの防災を取り込んだ災害管理プログラムに関する国家社会への包括的な技術支援の供与。	2013-2014	国別報告 IFRCフォローアップ及び報告
		国連防災戦略 (UNISDR)	4.1 アフリカにおける防災コンポーネント調整 (TICAD/パートナー及び防災に関するアフリカ作業部会と共に)。 4.2 教育カリキュラムに防災、気候変動分野を主流化する支援及び災害に強い安全な学校インフラ整備の主流化を支援 (アフリカ各国政府、地域経済共同体及びアフリカ連合委員会とともに)。	2013-2017	4.1 アフリカ防災作業部会の会議報告書・議事録及びアフリカにおける防災プロジェクトおよびインシニアチブの報告書 4.2 学校のカリキュラムに使用される防災と気候変動に関する各国の教材の調査
		国際連合児童基金 (UNICEF)	4.1 防災のための児童憲章: 児童中心とした防災アプローチの促進。	2011-	TICADフォローアップメカニズム
		国際移住機関 (IOM)	4.1 人為的ないし自然的な人道危機もしくは災害への地方、国家、国際社会レベルでの効果的に対応する緊急準備対応への貢献(ケニア、ルワンダ、南スーダン)。	2008-2017	国家モニタリング、IOM戦略計画の評価、特定のプログラムに対する業績管理枠組み
5	特に乾燥及び半乾燥地域における干ばつに対する強靱性の強化や嵐、洪水及び沿岸浸食の防止などの自然災害対策の実施	日本政府	5.1 海岸浸食対策能力向上支援等の防災支援。 5.2 アフリカ型洪水対策の普及。 5.3 島しょ国を対象とした災害リスク軽減への支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	5.1 リオ+20地域行動計画の策定と実施を政策及び運用面で支援する戦略的パートナーシップと協力の促進。(IV 5.1, IV 14.1)* 5.2 サヘル及びアフリカの角地域における、干ばつ、洪水、海岸浸食への対応力を強化するリスク軽減対策の推進。 5.3 国及び地方レベルでのマルチハザード災害・気候リスク評価、及び標準的な損害及び損失の算定システムに関するコーポレートレベルの手法及びガイドンスの策定。 5.4 国家間パートナーシップ(特に南々三角協力)を通じ、計画、戦略、政策、プログラム、予算に低排出で気候変動に強靱な対策を統合するためのソリューションの開発。(IV 5.4, IV 7.4)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連世界食糧計画 (WFP)	5.1 アフリカ20カ国における干ばつ、洪水、海岸浸食への強靱性構築のための地域防災措置に向けた資産創造プログラムの実施。 5.2 WFP防災政策2011-2012の継続。食料安全保障及び強靱性の構築は、i)再発ショックの効果の軽減、ii)貧困農民の資産獲得及び保護支援、iii)劣化する天然資源からより持続可能な生活手段に頼る家庭支援、に対応する。	国に応じて、少なくとも次の5年間	WFPモニタリング及び評価

6	全てのレベルにおける防災に関する人材育成、組織制度、情報システムの開発	日本政府	6.1 環境気候変動に関する人材育成。(2,000人)(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1, IV 8.1)* 6.2 ICTインフラを活用した気象サービス等に情報サービスを利用した災害リスク軽減支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	6.1 より統合された意思決定に向けた気候に関する情報システムの強化支援。(IV 1.1 IV 6.1)* 6.2 アフリカにおける防災のための制度や組織の能力を強化。(i) CADRIイニシアティブを通じた防災に関する総合的な能力評価の実施、(ii) DRRへの投資を推進するためのアドバイザーの配置、(iii) リスク評価のための国レベルでの能力強化、損害及び損失に関する国レベルでのデータベースの設置、(iv) 地域および国レベルでの早期警戒システムの設置) 6.3 国および地方レベルでの持続可能性とジェンダーに配慮したリスク対策の統合を支援する政策、ガイダンスの作成。(IV 4.5, IV 6.3, IV 7.5)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連食糧農業機関 (FAO)	6.1 強靱性に焦点を当てた緊急プログラムの開発及び改善。		TICADフォローアップメカニズム
7	AAP(アフリカ気候変動適応支援プログラム)を含む適応の取組及び気候変動への適応分野への投資に有利な政策環境の促進	国連開発計画 (UNDP)	7.1 アフリカの政府、コミュニティ及び地域機関の食料安全保障やその他の開発優先課題への気候変動の影響に対処する能力強化。 7.2 アフリカ連合と地域経済共同体の主要セクターの開発計画と予算フレームワークへの一貫した対策の統合支援。 7.3 気候ファイナンス (UNREDD含む) へのアクセス、実施、モニタリング及びレポーティングを最大化するためのシステムやメカニズムの開発。(IV 7.3, IV 10.1)* 7.4 国家間パートナーシップ(特に南々三角協力)を通じ、計画、戦略、政策、プログラム、予算に低排出で気候変動に強靱な対策を統合するためのソリューションの開発。(IV 5.4, IV 7.4)* 7.5 国および地方レベルでの持続可能性とジェンダーに配慮したリスク対策の統合を支援する政策、ガイダンスの作成。(IV 4.5, IV 6.3, IV 7.5)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連環境計画 (UNEP)	7.1 サブサハラアフリカ地域における食料安全保障のための農業生態系における気候変動影響についてエコシステムアプローチの適応(EBA)の適用。	2013-2017	プロジェクトは計画策定と活動実施の窓口である国連国事務所を通じて調整され、国事務所による計画実施のアウトプットのモニタリング及び評価
		国連工業開発機関 (UNIDO)	7.1 アフリカにおける低炭素及び気候変動に強靱な工業開発(エジプト、ケニア、セネガル及び南アフリカ)。	2013-2015	UNIDOを通じたモニタリング及び評価
		国連ボランティア計画 (UNV)	7.1 コミュニティベースでの気候変動適応及び緩和措置のためのボランティア支援。	2013-2017	加盟国によって既に開発されたシステムによりモニタリング及び評価
		国連大学 (UNU)	7.1 気候及び生態系変動に対する統合適応戦略の開発(JSTやJICAとの連携による)。	2011-2016	JST及びJICAを通じたモニタリング及び評価
		国際移住機関 (IOM) 国連食糧農業機関 (FAO)	7.1 気候変動イニシアティブ(レソト、ナミビア、スワジランド)。	2014から	外部評価及びブラットホーム利用のモニタリング
		国連環境計画 (UNEP) 国際移住機関 (IOM)	7.1 サブサハラアフリカ地域における食料安全保障のための農業生態系における気候変動影響についてエコシステムアプローチの適応(EBA)の適用。	2013-2017	プロジェクトは計画策定と活動実施の窓口である国連国事務所を通じて調整され、国事務所による計画実施のアウトプットのモニタリング及び評価
8	水力、太陽光、地熱、バイオマス及び風力発電を含めた再生可能エネルギーへの投資促進	日本政府	8.1 環境気候変動に関する人材育成(2,000人)。(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1, IV 8.1)* 8.2 国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) を通じた再生可能エネルギー推進支援。 8.3 JBICにアフリカ貿易投資促進ファシリティを設け、50億ドル規模の出融資・保証を実施。(I 1.5, I 2.9, I 3.4, II 1.8, IV 8.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	8.1 制度、技術、財政的パートナーシップモデル及びマルチファンクションプラットフォームの開発を含む、(エネルギーアクセスが不十分なコミュニティ、グループ及び女性に着目した) 包括的かつ持続的な対策を通じたエネルギー効率の向上、新エネルギーへのユニバーサルなアクセスへの支援。(II 1.3, II 2.3, IV 8.1)* 8.2 環境・クリーンエネルギー関連技術の取得に関する、SS-GATEを通じたアフリカ諸国支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連工業開発機関 (UNIDO)	8.1 再生可能エネルギー・エネルギー効率性のためのSADC地域センターの設立。	継続中、2012-2015	UNIDOを通じたモニタリング及び評価

9	気象学に関するアフリカの統一戦略(天候及び気候サービス)の支援	国連開発計画(UNDP)	9.1 アフリカのサブリージョナル機関を通じた災害リスク対策への投資の参考となる気候リスク情報の利用促進	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		世界気象機関(WMO)	9.1 気象(天候及び気候サービス)に係るアフリカ統合戦略の実施-アフリカのための気候サービスのための世界的枠組み:アフリカ連合委員会, アフリカ地域気候センター, 日本気象協会と共に。	2013-2017	AMCOMETの半年計画・レビューサイクルに沿って、TICADフォローアッププロセス及び定期的な独自レビューを通じたモニタリング及び評価
10	REDDプラス(森林の減少及び劣化に由来する排出の削減等)のプロジェクトの推進	日本政府	10.1 34か国におけるTREESイニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画(UNDP)	10.1 気候ファイナンス(UNREDD含む)へのアクセス、実施、モニタリング及びレポーティングを最大化するためのシステムやメカニズムの開発。(IV 7.3, IV 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
11	気候変動適応プログラムを含めた自然リスク及び防災に関するメディア専門家、計画立案者、公務員の訓練	国連開発計画(UNDP)	11.1 アフリカ5カ国でのハイレベルの支持者(計画省、財務省)へのDRR主流化研修。地方の計画立案者を対象としたリスク情報、早期警戒そしてDRRIに関する研修。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
12	都市型リスク管理プラットフォームの設立	国連防災戦略(UNISDR)	12.1 都市やコミュニティを災害や気候変動の影響からより安全にするための行動を示した「10の必須項目」をアフリカの60の都市および地方政府が実施する際の支援。	2013-2017	都市・地方政府による「10の必須項目」実施状況の年次報告書及び都市・地方政府による都市間学習に関する査読を経た報告書
13	国連プロセスにおけるポスト兵庫行動枠組み(2005年~2015年)の議論への貢献	国連開発計画(UNDP)	13.1 アフリカワーキンググループや防災に関するアフリカ閣僚会議支援を通じたアフリカのポジションの準備への支援。 13.2 1) 開発におけるジェンダーに配慮した災害・気候リスク管理の統合に関する政策ガイダンスの作成, 2) 国及び地方レベルにおけるマルチハザード災害・気候リスク評価の手法及びガイダンスの作成, 3) 標準的な損害及び損失の算定システムに関するコーポレートガイダンスの策定、を含む災害・気候のリスク削減のための革新的で新しい仕組みや手法の実証、展開。(III 4.4, IV 3.1, IV 13.2)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連防災戦略(UNISDR)	13.1 アフリカ30ヶ国において兵庫行動枠組, ポスト兵庫行動枠組, アフリカ防災戦略および行動計画、防災を念頭においた気候変動適応策の実施を支援。	2013-2017	兵庫行動枠組の実施状況モニタリング報告書(隔年)及びアフリカ地域防災プラットフォーム報告書
14	第20回AUサミットで採択されたリオ+20に関するアフリカの地域プログラムの実施	国連開発計画(UNDP)	14.1 リオ+20地域行動計画の策定と実施を政策及び運用面で支援する戦略的パートナーシップと協力の促進。(IV 5.1, IV 14.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		アフリカ担当事務総長特別顧問事務室(UNOSAA)	14.1 リオ+20成果文書や持続可能な開発目標の実行や、実行のための手段(開発のためのファイナンス、能力構築、技術移転)についてのアドボカシーを継続。	2013-2017	アドホックベースのブリーフィングと報告
15	アフリカの過酷かつ予測不可能な気候状態に対処するための早期警報システムの支援	国連開発計画(UNDP)	15.1 アフリカ諸国の政策決定に寄与する気候に関する情報システムの強化支援(早期警戒システムの設置など)を含む、危機に効果的に対応するための、予防、早期警報準備のための革新的なシステムの開発、実施。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
16	その他の取組	国際労働機関(ILO)	16.1 気候変動に対応し、アフリカにおけるグリーン経済の発展を支持する環境に優しい雇用の促進。	2013-2017	ILOの評価政策に従ったモニタリング及び評価
		国連教育科学文化機関(UNESCO)	16.1 天然資源管理及び防災向上のための科学技術・イノベーションの育成(アフリカ連合、地域経済共同体、加盟国、パートナーと共に)。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連地域開発センター(UNCED)	16.1 アフリカにおけるEST(環境持続可能な交通)フォーラムの設置及び2014年第一回フォーラムの開催に向けた貢献。	2013-2014	第一回フォーラム報告書の関係機関への提出
		国連高等難民弁務官事務所(UNHCR)	16.1 薪、エネルギー効率の良いストーブ、(可能な場合には)太陽光照明の提供を通じた、難民向けプログラムにおける環境に優しい活動の促進。	2013-2017	UNHCRグローバルレポート

注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注:*再掲

別表テンプレート

V 万人が成長の恩恵を受ける社会の構築

成果目標	現状(2013年現在)	成果(2017年現在)
<p>(1)特に女子、また地方や遠隔地を考慮した初等及び中等教育の完全普及と職業訓練の増加 (2)脆弱層への公共保健サービスの拡大を通じた医療保障の増加 (3)専門の技能を持つ分娩助産者による分娩の平均割合の増加 (4)リプロダクティブヘルスに関するマプト行動計画に政策を整合するAU加盟国数の増加 (5)2015年までに、AU加盟国において母子保健に関する国民への教育のために報道機関の活用増加 (6)標準体重以下の5歳未満の子どもの削減 (7)新生児含めた5歳未満児、妊産婦及び母親の命を救う (8)国家計画を考慮しつつ家族計画の提供に向けた進捗の確保 (9)HIV/エイズ、結核、マラリアに関連した死亡者数の削減 (10)水供給サービスの範囲及び持続可能性の向上により、安全な飲料水へのアクセスの増加 (11)産前及び産後ケアの更なる促進</p>	<p>健康と教育は成長のための人間開発の基礎となっており、その進展はミレニアム開発目標達成に向けて重要である。この見地から、TICADプロセスは医療システムの強化を支援し、アフリカ大陸のユニバーサルヘルスケアを促進する。TICADプロセスはまた、感染症と非感染性の病気の予防と手当てだけでなく、栄養摂取を含めて母子の健康を促進し、AUの妊産婦死亡削減加速化キャンペーン(CARMMA)を支援する。 TICADプロセスは、リプロダクティブ・ヘルス・サービス、安全な水と衛生へのアクセス改善に向けて取り組み、また教育へのアクセス拡大とあらゆる段階における教育の質の向上に焦点をおく。以上の背景より、横浜行動計画2013-2017では11の成果が定められており、これには、安全な水へのアクセスだけでなく、初等中等教育、ヘルスケア、母子の健康や出産、HIV/AIDS、結核、マラリア、ポリオの根絶を含んでいる。 UNDP、AUC、AfDB、UN-ECAIにより発行された、アフリカミレニアム開発目標報告2013では、成功と挑戦、革新と障害が提示されている。多くの目標と課題と指針に向けた、アフリカの実質的な進展に疑う余地はない。一般に、アフリカでは、ミレニアム開発目標2(普遍的初等教育)、3(ジェンダー平等と女性のエンパワーメント)、6(HIV/AIDS、結核、マラリア)は進展しており、ミレニアム開発目標1(絶対的貧困と飢餓)、4(乳幼児死亡)、5(母子保健)、7(環境持続可能性)、8(世界的な開発パートナーシップ)は停滞している。さらに、深刻な課題が、特に職業訓練機会への移行、サービスの提供や最低賃金の改善、性差別において残っている。 ミレニアム開発目標を達成するため、またポスト2015開発アジェンダの協議におけるアフリカの経験と概観を反映するため、さらなる協力が重要である。</p>	<p>一年間の進捗は、年次進捗報告書によってTICAD V 閣僚会合にてレビューされる。2017年現在の成果は、次回のTICADにて報告される。</p>

TICAD Vが支援するアフリカの取組	実施主体	活動/イニシアティブ(要約)	実施期間(想定)	モニタリング方法
1 教育	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、NEPAD	1.1 農村・遠隔地、少女、少数派及び貧困層を考慮に入れた教育のアクセス及び質の向上プログラムの強化。 1.2 教育の質を高めつつ、初等教育修了率を高める。 1.3 基礎教育の重要な要素としての前期中等教育のアクセス及び質の向上。 1.4 初等及び前期中等教育への均等なアクセスの向上のため適切な教育施設の提供。 1.5 初等及び前期中等教育の質の向上のための教員訓練及び学校運営管理を通じた適切な知識と技能を教員に授ける。 1.6 教育現場で最大限の利益をもたらす教育政策のための関係者の行政能力の向上。	2014-2017	アフリカ教育大臣会合によるモニタリング
2 保健	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、NEPAD	2.1 保健システム管理改善に向けた国及び地域レベルでの組織及び個人に対する能力構築を通じた保健システムの強化及びユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成。 2.2 強化された公共保健支出モニタリングを通じた保健分野への財政余地の拡大。 2.3 保健分野の官民連携の強化:アフリカの保健機関から構成される地域学術ネットワークを通じた有益な情報、経験共有及び実習の創設。 2.4 訓練された助産師の立ち会いによる分娩率を50%まで増加。 2.5 技術能力の強化と同様に保健システムの強化を通じ感染症対策により注力するための広域及び大陸プログラムの策定、支援及びび懲添。関係国際機関の協力の下、ガンのための放射線治療を含む非感染性疾患(NCDs)への取組の強化。	2014-2017	アフリカ保健大臣会合によるモニタリング
3 AUCの保健サービス・医療提供システムの強化	アフリカ連合委員会	3.1 保健システム実績の向上を目的とする政策展開。 3.2 健康管理アクセス、公平性、統一性、質の向上。 3.3 診療サービスを届けるための管理システム及び実績の向上。 3.4 AUCコミュニティのプライマリー・ヘルス・ケアのニーズを満たすための高度機能を備えた研究拠点が繋がるサービス提供者の能力構築。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによる事業モニタリング及び報告メカニズム
4 アフリカにおける水・衛生目標の達成加速化のためのシャム・エルシェイク・コミットメントの実施	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、NEPAD	4.1 アフリカにおける水・衛生目標の達成加速化のためのシャム・エルシェイク・コミットメントの実施に関する2014年AU総会決議に従って、アフリカ10カ国における水・衛生のためのポール・カガメ行動計画の実施。a) 2015年水・衛生イベントに変わって500億ユーロを動員すること、b) アフリカの農村家庭の水供給・衛生不足を軽減することを目的とした共同体レベルでの直接行動支援。	2014-2017	アフリカ水担当大臣によるモニタリング

5	アフリカ・ウォーター・ビジョン2025の推進	アフリカ連合委員会、 地域経済共同体、 NEPAD	5.1 アフリカにおける生産的な衛生解決の促進と廃棄物を異なった視点で捉えることによるアフリカ・ウォーター・ビジョン2025の実現に向けた努力の再活性化。 5.2 汎アフリカ廃棄物管理プログラムの主要な特定行動に繋がる事業計画の策定。一方で、ブルキナファソがプログラムの資源動員及び実施を擁護するとみなされている。	2014-2017	アフリカ水担当大臣によるモニタリング
TICAD Vの重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	適切な教育施設の供給、教員の能力向上及び関係者の管理行政能力の改善を通じた、初等及び中等教育並びに職業訓練への衡平性に配慮したアクセス及び質の向上	日本	1.1 以下を通じて新たに2,000万人の子供に対して質の高い教育を提供。(II 7.1, V 1.1)* ①理数科教育の拡充支援 ②学校運営改善「みんなの学校」プロジェクトの拡充 ③学力試験改善支援 ④小中学校および教員養成校の建設及び教室整備 1.2 国費留学生受け入れ、5年間で800人を対象。(II 3.2; II 7.2, V 1.2)* 1.3 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)* 1.4 元幼年兵の就業支援(世銀グループの信託基金を通じた5年で1億ドル相当支援の一部)。(III 3.2, V 1.4, V 3.6)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	1.1 教育へのアクセス及び質の向上のため、教育セクターに対する年平均9億ドルの投資を実施。	2014-2017	プロジェクトのモニタリング及び報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連教育科学文化機関(UNESCO)	1.1 アフリカにおける持続可能な発展のための教育システムの強化:教育の質、公平性、妥当性の改善(アフリカ連合、地域経済共同体、加盟国及びパートナーと共に)。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連世界食糧計画(WFP)	1.1 国の学校給食プログラムのデザインと管理のための制度的能力向上(ブラジル、NEPADと共に)。 1.2 性的不平等が顕著な地域における、教育のインセンティブのための学校給食の提供。	2013-2018	WFPモニタリング及び評価
		国際連合児童基金(UNICEF)	1.1 「スクール・フォー・アフリカ」万人のための教育とミレニアム開発目標(MDG2&3)に係る教育イニシアティブ:もとも恵まれない人々に焦点を当てつつ、アフリカ11カ国における教育へのアクセスと教育の質の向上。 1.2 授業料廃止イニシアティブ:ミレニアム開発目標(MDGs)と万人のための教育の促進に向けた基礎教育へのアクセスの改善(世銀と共に)。	1.1 2010-2014 1.2 2005-	ユニセフ各国事務所によるモニタリングと評価の実施 毎年進捗状況報告書を作成
		フランス語圏諸国共同体(OIF)	1.1 図書センター及び文化活動施設の開発による文化へのアクセスの成長:既存の仏語図書スペースより手軽に利用できる施設の導入(中央アフリカ、コンゴ民、ジブチ、マリ、セーシェル)。	2014	センター来訪者情報収集のための取組を設置
		アガカーン財団ネットワーク(AKDN)	1.1 教育センターの継続(東部アフリカ)。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用
		ポルトガル政府	1.1 FASE:教育部門の資金支援一分野予算支援。 1.2 技術技能教育支援。 1.3 ポルトガル語、総合科学、数学、市民教育及び保健教育の分野での技能訓練。 1.4 TESE:児童及び大人により良い教育環境提供のための学校電化事業(再生可能エネルギーを利用した)。 1.5 太陽光発電システムの設置。	1.1 2008-2015 1.2 2001-2014 1.3 2012-2016 1.4 2010-2013 1.5 2011-2013	TICADフォローアップメカニズム
		コロンボ・プラン	1.1 麻薬予防教育:幅広い若年人口に対する関与及びライフスキル研修の提供及び接触。	2013	案件監理専門家による監理及び評価、コロンボ・プラン本部によるモニタリング訪問
2	ナレッジに基づく教育開発と、フォローアップ及び成果測定を適格に行うメカニズムを確保するための教育管理情報システムの強化	アガカーン財団ネットワーク(AKDN)	2.1 東部アフリカにおける中等教育及び教員教育。 2.2 東部アフリカにおける専門家学校及び科学技術。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用

3	母子保健、リプロダクティブヘルス、感染症及び非伝染性疾病に特別に配慮しつつ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを進展させるための保健制度の強化	日本	3.1 500億円の支援実施。 3.2 保健医療人材の育成、12万人を対象。 3.3 ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)実現に向けた保健人材開発、サービス提供体制及び財政基盤の強化。 3.4 MDGの加速的達成を実現するための母子・新生児継続ケア及び栄養改善。 3.5 感染症対策の支援維持(世界基金等に対する拠出と連携プロジェクトの実施、ポリオ根絶に向けた取組、無視された熱帯病(NTD)等への取組)。 3.6 乳幼児の栄養失調の予防(世銀グループの信託基金を通じた5年で1億ドル相当支援の一部)。(Ⅲ3.2, V 1.4, V 3.6)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		世銀グループ	3.1 23カ国において、保健システムの強化に年間平均5億ドルの投資を行い、地域の保健イニシアティブを支援。また、民間のヘルスケア及び官民連携を支援。	2014-2017	プロジェクトのモニタリング及び報告メカニズム TICADフォローアップメカニズム
		国連開発計画(UNDP)	3.1 リージョナル、サブリージョナル、国レベルの開発計画、セクター計画・政策への支援を含むMDG加速フレームワークへの支援の促進。(Ⅲ 4.1, V3.1)* 3.2 SS-GATEの一環であるSouth-South Global Health Exchange (SS-GHX)を通じた、妊産婦・乳幼児死亡の削減。 3.3 HIVによって影響を受ける人々の脆弱性や、彼らに対する差別を減らすための戦略及びグローバル・パートナーシップ戦略の促進。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国際原子力機構(IAEA)	3.1 アフリカ地域における包括的ながん対策への支援。 3.2 核医学及び放射線診断学における服用最適化に関する医療物理学の役割の促進。 3.3 大量飼育される蚊及び不妊虫放飼法技術(SIT)の統合に関する専門的技術及び物理的基盤の共有の促進。	2014-2017	IAEAフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国際赤十字・赤新月社国際連盟(IFRC)	3.1 共同体ベースの保健及び応急処置。	1991-2025	IFRC計画・評価ガイドラインに基づくPMERシステム及びガイダンス
		国際移住機関(IOM)北アフリカ	3.1 移住者、特に拘束された移住者に対する保健サービス供与の向上。	3年間	外部評価
		国際移住機関(IOM)ソマリア	3.1 脆弱な移住者、移動集団及び被災共同体におけるHIV/AIDS、マラリア、結核対策。 3.2 脆弱な移住者、移動集団及び被災共同体におけるプライマリー・ヘルスケア・サービスの向上。 3.3 移住保健アセスメントの強化:罹患率の低下、移住者に親切的サービスへのアクセス増加、地方及び制度的な技術能力の強化 3.4 :環境衛生状態の改善、脆弱な移住者、移動集団及び被災共同体における水性感染症の低下のための官民連携(PPP)の強化。	3.1 2010-2017 3.2 2010-2017 3.3 2013-2017 3.4 2012-2018	国家モニタリング、IOM戦略計画の評価、特定のプログラムに対する業績管理枠組み
		コロombo・プラン	3.1 出先福祉センター:麻薬治療施設の紹介、病院推薦制度促進による麻薬使用者の意識及び動機向上。	2013	案件監理専門家による監理及び評価、コロombo・プラン本部によるモニタリング訪問
		国際労働機関(ILO)	3.1 HIV/AIDSの予防、治療及び支援サービスへのアクセス容易化する職場のプログラムの実施。	2013-2017	ILO評価政策に従ったモニタリング及び評価
		国連合同エイズ計画(UNAIDS)	3.1 戦略的投資アプローチ:各国の疾病状況に応じた国家プログラム予算の適正な配分。	2012-2015	2014年資金の合理的配分(公的財源割合の増加)
		世界エイズ・結核・マラリア対策基金(GMATM)	3.1 エイズ、結核及びマラリアの感染予防及び感染者等に対する治療、ケアその他の支援(世銀と共に)。	2012-2016	世界基金モニタリング評価システム
		国際赤十字・赤新月社国際連盟(IFRC)	3.1 感染症予防を含む緊急保健介入が求められる疾病への世界的及び地域的な対応の更なる実施。	2011-2025	リアルタイム事業レビュー、緊急事後レビュー及び評価
		国際赤十字・赤新月社国際連盟(IFRC)国連合同エイズ計画(UNAIDS)	3.1 革新的な共同体ベースのサービス提供モデルの開発、政策への影響、及び選ばれたアフリカ諸国における資源の動員。	2000-2015	UNAIDS及び世銀国別モニタリング
		国際赤十字・赤新月社国際連盟(IFRC)	3.1 サブサハラアフリカのマラリア負担国及び特別な焦点が必要な重負担国のためのIFRCグローバル・マラリア・プログラム:ミレニアム開発目標4、5、及び6への直接的な貢献。ポストMDG目標の定義の支援。	2010-2020	電話調査、リアルタイムデータ収集

		国際家族計画連盟 (IPPF)	3.1 女性や若者といったHIVに最も脆弱な人々への統合されたHIV及びリプロダクティブ・ヘルス関連サービスへの拡大され、かつ持続するアクセスに対する貢献。 3.2 ケニアにおけるリプロダクティブ・ヘルス関連サービスへのアクセスの向上。 3.3 性産業従事者のための統合されたHIV及びリプロダクティブ・ヘルス関連サービスの利用及びアクセスの増加。 3.4 ザンビアにおけるリプロダクティブ・ヘルス関連サービスへのアクセスの向上。 3.5 家族計画、リプロダクティブ・ヘルス及びHIVとの相互照会リンクの強化。 3.6 HIV母子感染の防止を含む母子保健サービスの向上。		TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国際連合児童基金 (UNICEF)	3.1 マラリア予防。 3.2 ポリオ撲滅:ポリオ撲滅に向けた子供達への免疫付与。 3.2 SUNイニシアティブ(栄養スケールアップ):ミレニアム開発目標1の達成のための飢餓と低栄養の減少。 3.4 基礎的医薬品、医療器具、保健物資へのアクセス向上、適正使用により、2015年までに1600万人の生命を救う。	3.1 2013 3.2 2013-2014 3.3 2010- 3.4 2012-2015	3.1及び3.2 ユニセフ各国事務所によるモニタリングと評価の実施/プロジェクト完了後のドナー向け報告書 3.3 SUNの実施状況と達成状況をモニタするための指標の作成、及びパートナーによるモニタリング 3.4 子供と女性の健康に関する情報と説明責任会議の下に設置された独立専門家レビューグループによる国連事務総長報告
		国際原子力機構 (IAEA)	3.1 AFRAの国々における、安定したアイソトープ技術を用いた母子のビタミンAの状態のモニター及び改善の実施。	2014-2018	IAEAフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		赤十字・赤新月社 (RC/RC)	3.1 医療分野における優先事項に対処するプログラムの開発及びメカニズムの支援。	2013-2014	国別報告、IFRCフォローアップ及び報告
		国連世界食糧計画 (WFP)	3.1 アフリカでのコメの栄養強化プログラムの展開と実施。児童の微量栄養素欠乏の緩和。 3.2 子供の「最初の1000日」である妊娠から3歳の誕生日の間に着目した発育障害の防止。子供の発育障害の有病率の低下。児童の微量栄養素欠乏の緩和。	2013-2018	人口統計・保健調査
		ワクチンと予防接種のための世界的同盟 (GAVI)	3.1 GAVI支援の受給資格のある73カ国における5歳未満の子どもの死亡率の低下。 3.2 GAVIの支援する73カ国に肺炎球菌・ロタウイルス・5種混合・黄熱病・髄膜炎A型・HPV・麻疹に対するワクチンを含む新規または活用されていないワクチンのを導入による新たな死者の防止。 3.3 GAVIの推奨するワクチン接種を受けた児童数の増加:2015年までに新たに2億4,300万人の児童がGAVIの推奨する予防接種を受ける(ベースライン:2010年データ)	2010-2017	GAVIのモニタリング・評価部門が評価諮問委員会を通じてGAVI理事会に定期的に報告
		国連人口基金 (UNFPA)	3.1 91カ国における母性保護イニシアティブ支援:妊婦管理の能力開発、特に必要とされる人材の強化を強調する支援プログラム。 3.2 瘻孔の防止運動:出産時の必要な手当の提供、及び出産時の危機的な時間帯に妊婦が必要とする保健システムへの関心を促すことにより、安全な妊娠を奨励する。 3.3 共同体ベースの助産師数の増加、保健システムの後方支援する地区レベルの保健システムの強化。	2013-2018	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		アガカーン財団ネットワーク(AKDN)	3.1 病院及び保健センターネットワークの拡張。	2013-2017	AKDNのモニタリングシステムを活用
4	アフリカ諸国が自国の政策とアフリカ妊産婦死亡削減加速化キャンペーン(CARMMA)及びセクシャル・リプロダクティブヘルス権利に関する行動計画(マプト行動計画)とを整合させるための支援	国際家族計画連盟 (IPPF)	4.1 ガーナにおける妊産婦・新生児・子どもの健康の改善努力の強化;性とリプロダクティブ・ヘルスに関する健康サービスへのアクセスの向上。 4.1 セネガルにおける妊産婦・新生児・子どもの健康の改善努力の強化;性とリプロダクティブ・ヘルスに関する健康サービスへのアクセスの向上。	2013-2015	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連人口基金 (UNFPA)	4.1 安全な出産のためのアフリカの女性と子供の保健サービスへのアクセス向上支援。 4.2 母子妊産婦/新生児情報とプライマリー・ヘルスケアの統合支援。 4.3 アフリカ諸国への家族計画政策・サービスの効率性の向上。 4.4 母子保健、周産期医療支援。	2013-2018	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国際連合児童基金 (UNICEF)	4.1 EMBRACE(産前から産後まで切れ目のない手当てを)パイロットプロジェクト:母子健康の改善(JICA及び各国保健省と共に)。	2013-2015	ユニセフ各国事務所によるモニタリングと評価の実施 ドナー向け報告書
5	AUCの保健サービス・医療提供システムの強化				
6	持続可能な水供給を確保するための節水対策の実施を含めた持続可能な水資源管理の促進	国連開発計画 (UNDP)	6.1 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国際原子力機構 (IAEA)	6.1 サヘル地域の共有帯水層システム及び流域の総合的及び持続可能な管理	2014-2017	IAEAフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

7	都市及び地方における、安全な水の持続可能な供給及びアクセス並びに衛生状態の改善	日本政府	7.1 給水・衛生改善支援(SHIAWASE AFRICAイニシアティブ)。新たに1,000万人を対象。 7.2 都市水道技術者1,750人の育成。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	7.1 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国際赤十字・赤新月社国際連盟 (IFRC)	7.1 IFRCグローバル水・衛生イニシアティブ (GWSI) (アフリカ27カ国)	2005-2025	中間評価, 最終評価, プロジェクト完了後調査
		国際赤十字・赤新月社国際連盟 (IFRC)	7.1 IFRC緊急水衛生支援 (災害被害時の全てのアフリカ諸国)	2010-2025	リアルタイム事業レビュー, 緊急事後レビュー及び評価
8	国家及び地域レベルで水と衛生をフォローアップ及びモニタリングするためのシステムを2016年までに強化	国連開発計画 (UNDP)	8.1 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
9	CAADPにおいて使用されるコンパクト・アプローチに則った水と衛生に関するアフリカビジョン2025の実施	国連開発計画 (UNDP)	9.1 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
10	総合的な廃棄物管理の促進	日本政府	10.1 大都市の廃棄物管理強化支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	10.1 天然資源、生態系保全、化学物質及び廃棄物の持続的な管理に向けた対策の特定、実証、及び実用化支援 (III 7.1, IV 2.2, V 6.1, V 7.1, V 8.1, V 9.1, V 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連環境計画 (UNEP) 国連人間居住計画 (UN-HABITAT) 国連地域開発センター (UNICDR)	10.1 アフリカにおける統合的な廃棄物管理。	2013-2017	実施機関調整委員会を通じて実施され、主導機関がTICAD共同事務局に対し報告
11	その他の取組	国連開発計画 (UNDP)	11.1 ポスト2015開発アジェンダ、持続可能な開発アジェンダ、2063アジェンダ及びアフリカ共通ビジョン等に関連した国際的・地域的開発課題への戦略的・継続的検討の促進。 11.2 ポスト2015開発アジェンダ実施戦略策定に関する地域機関への支援。 11.3 南南協力といった途上国からの有益な経験に着目した開発手法に関する知識を蓄積、共有するメカニズムの設立の促進。アフリカ人間開発報告書、国別人間開発報告書、アフリカ経済見通し(AEO)、アフリカ・ガバナンス報告、MDG報告を通じた研究、分析、政策改革への支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズム
		アフリカ担当事務総長特別顧問事務室 (UNOSAA)	11.1 ポスト2015年開発アジェンダの文脈におけるアフリカ大陸自由貿易圏の稼働に向けた支援を結集するためのハイレベル討論の企画。 11.2 アフリカ各国によるMDGs実現加速化の支援のための資源の結集を容易にするためのグローバルなレベルでの政策的アドボカシーの継続。	11.1 2014 11.2 2013-2015	アドホックベースのブリーフィングと報告
		国連高等難民弁務官事務所 (UNHCR)	11.1 難民児童全員へのプライマリー・ヘルスケアの供与及び初等教育のアクセスを通じ、MDGs達成の推進する難民及び地元共同体に対し教育・保健を含む基礎サービスのアクセスを提供。	2013-2017	UNHCRグローバル報告
		国連食糧農業機関 (FAO)	11.1 ポストMDGに関する国家訓練プログラムの実施数の増加。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国連人口基金 (UNFPA)	11.1 ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの達成のためのアフリカの努力を支援。	2012-2018	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会、地域経済共同体、アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注:*再掲

別表テンプレート

VI 平和と安定、民主主義、グッドガバナンスの定着

成果目標	現状(2013年現在)	成果(2017年現在)
(1) アフリカ平和安全保障アーキテクチャー(APSA)の実施 (2) アフリカ機関の人的・組織的能力を強化するためのAU/NEPADによるRECsの能力向上支援プログラムの実施 (3) テロ対策及び組織犯罪撲滅のための訓練を受けた人員数の増加 (4) APRM枠組みの下でレビュー済みの国々における国家行動プログラムの支援 (5) ジェンダー不平等是正のための女性の経済アクセス拡大に関するプログラムへの支援増加 (6) 若者の雇用機会創出のための中小企業の支援増加	平和と安全はアフリカの社会経済発展において必要不可欠である。TICADプロセスは、アフリカ大陸での平和と安全に対する挑戦に対処するため、アフリカ連合と地域経済共同体(RECs)、RMの能力構築だけでなく、アフリカ平和安全保障アーキテクチャー(APSA)の履行を強化することを目的としている。これには海上安全保障、テロ対策、反汚職のような課題も含まれている。賢人パネル、アフリカ大陸早期警戒システム、アフリカ待機軍及びアフリカ平和支援活動といったAPSAの主たる部門以外でも、TICADプロセスはテロ対策や国際組織犯罪対策における研修生の数を増やすことや、アフリカン・ピア・レビュー・メカニズムに続く国別計画の支援、性差別撤廃と女性と若者の能力強化の促進を目的としている。ここ数年、アフリカ大陸では紛争や犯罪が再び増加しており、テロ活動も増加している。TICADプロセスは、アフリカの挑戦に対するアフリカ自身による解決を促進するという包括的な目的のもとで、行政組織能力だけでなく、紛争の平和的解決、紛争予防、早期警告と対応、調停、紛争後再建と開発におけるアフリカのリーダーシップを強化することを目的としている。	一年間の進捗は、年次進捗報告書によってTICAD V閣僚会合にてレビューされる。2017年現在の成果は、次回のTICADにて報告される。

TICAD V が支援するアフリカの取組	実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1 アフリカ平和安全保障アーキテクチャー(APSA)の実施	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、地域メカニズム	1.1 アフリカ待機軍(ASF)、賢人パネル、大陸早期警戒システム、紛争後の復興と開発、アフリカ連合(AU)と地域経済共同体(RECs)及び地域メカニズム(RMs)との関係強化、横断的平和安全保障事案(テロ対策、海上安全保障、小型武器・軽火器の拡散、越境犯罪集団)を含むAPSAの主要事項に関するイニシアティブ実施の支援。	2014-2017	TICADプロセスを通じた報告
2 アフリカ待機軍(ASF)の活動化支援	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、地域メカニズム	2.1 資産の調達、獲得、再調達、貯蔵、在庫管理、配布、調査及び廃棄といったサプライチェーン管理を対象とする展開部隊への兵站に関する加盟国への訓練の提供。訓練は、大陸兵站拠点及び地域兵站基地への勤務を将来命じられるアフリカ連合委員会及び地域待機軍の職員を含む。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
3 AU平和支援活動部門(PSOD)内の海事部局への支援	アフリカ連合委員会	3.1 アフリカ大陸の海上安全保障の取組を支援するためのAU平和支援活動部門(PSOD)内の海事部局の能力構築。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
4 紛争後の復興と開発(PCRD)の達成等を通じた紛争を予防するためのアフリカによる取組への支援	アフリカ連合委員会	4.1 AUによる評価ミッションが派遣されたパイロット国(含む短期及び中期派遣:ブルンジ、中央アフリカ、コートジボワール、コモロ、コンゴ民、ギニアビサウ、リベリア、シエラレオネ、スーダン及び南スーダン)でのインフラ、農業、保健分野での早期に効果が見込めるプロジェクトの支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
5 アフリカ連合(AU)と地域経済共同体(RECs)及び地域メカニズム(RMs)との関係強化	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、地域メカニズム	5.1 平和安全保障イニシアティブの実施強化のためのRECs/RMsにおけるAUCの制度的プレゼンスないしはAUCにおけるRECs/RMsによる制度的プレゼンスの支援、及びRECs・RMs内での同種のメカニズムを伴ったAUの政治機関同士の活発な交流への支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
6 汎アフリカ賢人ネットワーク(PANWISE)の実施支援	アフリカ連合委員会、地域経済共同体、地域メカニズム	6.1 AU及びRECs/RMsの紛争予防及び調停活動の強化を目指した汎アフリカ賢人ネットワーク(PANWISE)行動計画の実施。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

7	テロ、麻薬、人身取引などの国境を越えた脅威に対処するための安全保障協力	アフリカ連合委員会、アフリカテロ研究センター	7.1 加盟国間の地域的安全保障協力強化のための定期的なフォーラムの設立。このフォーラムには、安全保障及びインテリジェンス、国境警備、税関及び法執行等の様々な国内部門の関係者から構成され、情報及びインテリジェンスの交換、様々な安全保障上の課題に対処するために必要な協力及び協調努力の様式・方法に関する議論及び合意がなされる。 7.2 合同越境活動の効果的及び協調的な実行に求められる必要な法的及び作戦上の枠組みを整えるために二国間、三国間、多国間を基礎とする安全保障上の合意事項の策定及び締結支援。 7.3 インテリジェンスの収集・分析、国境付近での違法貨物の発見、国境巡視、検問所での確認作業を含む異なる分野で必要とされる訓練やスキルを国内の関連法執行機関に行うための能力構築イニシアティブの着手。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
8	アフリカにおける人間の安全保障の推進	アフリカ連合委員会、加盟国、アフリカ平和支援訓練協会、アフリカ平和支援訓練機関	8.1 学校、医療センター、市場、交通手段の共同利用及び環境改善を通じて国境周辺のコミュニティが利益を得られるよう計画された、AU国境プログラムを補完するAU人間の安全保障プログラムの支援。 8.2 アフリカ平和訓練協会 (APSTA) を通じたアフリカ平和訓練機関によって供与される、紛争からの復興、紛争中及び紛争後の平和構築を実施している地域に対する人間の安全保障プログラムの実施。 8.3 小型武器及び軽火器、武装の解除、動員の解除及び社会への復帰活動 (DDR)、安全保障部門改革、地雷除去に関するAU政策の実施を含むAUIによる不拡散活動の支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
9	アフリカ平和維持派遣団の推進 (AMISOM, MISCA, MASAHEL, LRAI に対する地域イニシアティブ)	アフリカ連合委員会、加盟国、アフリカ平和支援訓練協会、アフリカ平和支援訓練機関	9.1 アフリカ平和維持派遣団 (AMISOM, MISCA, MASAHEL, LRAI に対する地域イニシアティブ) の支援の継続。 9.2 アフリカ平和地域訓練センターの支援。 9.3 技術協力における「カイゼン」の取り組み。 9.4 制度的メカニズム及びプロセスにおける女性と若者の参加の取り組みと誘因。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
TICAD V の重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	1.1 平和と安定に関連する取組を効率的に実施するためのアフリカのオーナーシップ及び能力支援 1.2 アフリカ自身の能力向上イニシアティブへの支援を通じたRECsの組織能力開発 1.3 将来の平和維持及び平和構築活動に参画可能な人材に関するデータベースの開発、及び国連やAUのガイダンスと支援を通じたこれらの人材の能力向上	日本政府	平和と安定に関連する取組を効率的に実施するためのアフリカのオーナーシップ及び能力支援 1.1 PKO訓練センターへの支援等を通じた人材育成、3,000人を対象。 1.2 APSA組織の実行力向上を含め、AU/RECsの平和構築の取組を支援。 1.3 AU/RECsに対する「カイゼン」等を通じた能力向上支援。 1.4 人間の安全保障の普及・実施にかかるAUIによる取組支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	1.1 紛争の平和的解決、予防、早期警戒対応、調停におけるアフリカのリーダーシップの強化、並びに地域及び国レベルでの政策・制度的な枠組みへの支援。 1.2 アフリカ連合や地域経済共同体の平和と安全に関する枠組みの強化支援。 1.3 制度・プロセスへの女性や若者の参加支援。(VI 1.3, VI 2.2)* 1.4 セクター毎の汚職リスクを軽減するための政策やガイダンスの作成、普及。(VI 1.4, VI 2.6, VI 4.8)* 1.5 紛争に配慮したプログラム形成に関するガイダンスや提言の作成 (VI 1.5, VI 4.12)* 1.6 社会的連帯の認識度の計測手法の開発及びテスト (VI 1.6, VI 4.13)*	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		アフリカ担当事務総長特別顧問事務所 (UNOSAA)	1.1 国連組織 (DPKO, DPI等) やAUC、アフリカ平和支援訓練者協会 (APSTA) と協働したアフリカ平和維持の訓練と研究に関するハイレベルフォーラム。	2014	アドホックベースのブリーフィングと報告
		国連地域開発センター (UNCDR)	1.1 アフリカにおける人間の安全保障: 主要関係者への能力構築及び特定国の人間の安全保障評価報告書	2013-2015	モニタリングはUNDESAおよびUNCRDが実施 評価はプロジェクト終了時にコンサルタント率いるチームが実施
		国連ボランティア計画 (UNV)	1.1 ボランティア精神を通じた地域及び国家平和構築イニシアティブ支援	2013-2017	UNVを通じたモニタリング及び評価
		国連ボランティア計画 (UNV) 国連PKO局 (UNDPKO)	1.1 アフリカにおける平和と安定の強化のため、国連ボランティアの他分野への派遣を通じた国連及びAUの平和維持ミッション・特別政治ミッション及び平和構築事務所への支援。	2013-2017	UNV及び国連PKO局を通じたモニタリング及び評価

2	2.1 紛争予防, 強制的移住の解決, 紛争終結後の復興の達成並びにテロ, 国際組織犯罪, 海賊との闘いに対するアフリカ自身の取組への支援増加 2.2 大陸における平和と安全の維持にかかるAU及びRECの役割の向上, 及びこれら課題における国連との協力推進	日本政府	国際社会と協力した平和の定着の継続的な支援 2.1 サハラ湾及び大湖地域を重点地域とした平和の定着支援。最初の取組、5.5億ドル。 2.2 アフリカにおける国連PKO活動に対する貢献。 2.3 国連平和構築委員会(PBC)、平和構築基金(PBF)等、国連によるアフリカ平和構築プロセスへの貢献。 2.4 脆弱国における貧困削減、若者の失業対策、女性の能力強化等への支援。 2.5 日本の市民社会による活動支援、専門家育成。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画(UNDP)	2.1 制度・プロセスへの女性や若者の参加支援。(VI 1.3, VI 2.2)* 2.3 紛争後の諸国における政府の基幹的機能及び基本的能力の再建に関する、南南協力を含む、グローバルなパートナーシップや革新的なアプローチ、政策やガイダンスの開発。 2.3 紛争やその他の危機的な地域における、国連グローバルフォーカスポイントを通じた、法の支配に関するグローバルイニシアチブの開始。 2.4 暴力の低下及び市民の安全のためのグローバルな政策の策定。 2.5 危機の影響を受けた人々に対する、緊急雇用創出やその他の様々な生計創出のための革新的モデルの開発。 2.6 人道関係者と開発関係者の連携を通じた、危機後の支援に関する協調行動の支援。 2.7 効果的な予防策を実現するための早期予知対応システムとメカニズムの設立支援。 2.8 平和共存と包括的社会を推進するコミュニティメディアの設置、和解への取り組み、そして社会的対話の支援。 2.9 紛争の迅速な解決を推進するためのコミュニティ、コミュニティ間、及び国境を越えた相互交流及び平和構築基盤への支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		アフリカ担当事務総長特別顧問事務所(UNOSAA)	2.1 国連事務総長、総会及び安保理への必要に応じた様々な報告と同様に、児童と武力紛争、安全保障分野の改革、武装解除、動員解除及び再統合、対テロリズムに関するタスクフォース会合並びに平和と安全保障に関する執行委員会の様々な作業部会を通じた国連システム全体の調整と一貫性確保の促進。	2013-2017	作業部会会合の報告及び事務総長、総会、安保理の関連報告
		国際労働機関(ILO)	2.1 アフリカの角地域における平和と開発のための雇用。 2.2 アフリカ地域における国内雇用者への適正な職の実現。	2013-2017	ILOの評価政策に従ったモニタリング及び評価
		国際移住機関(IOM)	2.1 遊牧民族の安全と移動の自由確保。 2.2 大湖地域における帰還難民のより良い経済的及び社会的再統合への貢献。 2.3 ソマリアにおける共同体及び避難民・危機の被害を被った社会的弱者層の強靱性構築・回復支援。 2.4 南スーダンにおける共同体ベースの平和構築イニシアチブを通じた人間の安全保障の促進。 2.5 マリにおける国内避難民及び受入共同体に対する緊急支援。	2013-2017	IOMの国別・地域別戦略計画及び特定プログラム実績管理枠組みによるモニタリング及び評価
		国連高等難民弁務官事務所(UNHCR)	2.1 受入共同体を含む共同体ベースプロジェクトを通じて、様々な民族集団と難民・帰還民受入共同体間の平和的共存を促進。 2.2 混合移民の流入国において、難民の保護のための制度設置を通じたルフールマン(難民の強制的送還)に対する保護政策の強化。 2.3 必要かつ実行可能な範囲における、日本政府との現場における情報共有の強化。 2.4 無国籍へのリスクを軽減するための法制度を実施する国への支援を通じた、無国籍者の防止と削減。 2.5 公共の場所の照明の設置、共同体による治安維持制度及び巡回裁判所、及びすべての性暴力被害者が適切な治療を通じた、難民に対する性に基づく暴力を予防するメカニズムの改善、及び犠牲者に対する支援の提供。 2.6 関係国政府とともにUNHCRが指導・調整する緊急計画を通じた緊急事態への事前準備及び難民受入国の負担の削減。 2.7 自発的な帰還、地元への統合、第三国定住といった持続的な解決を通じた難民問題の解決の追求。 2.8 JICAを含むステークホルダーとの密接な協力と調整を通じた、長引く難民問題に対応するための移行期解決イニシアチブ(TSI)の推進。 2.9 AU国内避難民(IDP)条約の批准と実施の促進。	2013-2017	UNHCRグローバル報告
		国連教育科学文化機関(UNESCO)	2.1 文化政策を通じた地域統合の文脈での平和及び持続可能な開発の活用。 2.2 平和の文化の推進。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国際赤十字・赤新月社国際連盟(IFRC)	2.1 北アフリカにおける開発への赤十字及び赤新月社による特定の貢献の強化。	2013-2017	IFRCフォローアップ及び報告
		国際連合児童基金(UNICEF)	2.1 アフリカのため人道支援: 社会的に最も脆弱な人々の必要を満たす人道支援	2013	UNICEFを通じたモニタリング及び評価
		国連ボランティア計画(UNV)	2.1 国連関連機関とともに市民専門家として働く訓練を受けた日本人(国連ボランティア)の数の増加。	2013-2017	UNV及びパートナーを通じたモニタリング及び評価

3	3.1 テロ、国際組織犯罪、海賊との闘いに対するアフリカ自身の取組への支援増加	日本政府	3.1 サヘル地域の安定化支援。1,000億円の開発・人道支援。 3.2 テロ及び国境を越えた問題対策に資する北アフリカ・サヘル地域の能力向上支援。2,000人を対象。 3.3 北アフリカ・サヘル地域のテロ・治安対策関係者との対話協力促進。 3.4 ソマリア沖の海上安全確保支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	3.1 テロ、組織犯罪や海賊行為に対する国家の対策や治安を強化するための、国及び地域レベルにおける法的枠組みや政策の強化支援。 3.2 テロ対策及び防止に関するAU行動計画、テロリズムに関するダカール宣言、テロリズムに関するアフリカ規範法の各国レベルでの採択を含む、地域メカニズムの実施支援。 3.3 小型武器・軽武器の拡散防止に関する地域・国レベルでの制度の実施支援。 3.4 治安アセスメントや状況に応じた対策の策定を通じた、AU、ECOWAS、その他の地域機関の推進・支援。 3.5 テロ、組織犯罪、海賊行為に対抗する組織間の連携や南南協力の推進。 3.6 過激化・過激主義を持続させる要因を理解するための紛争評価及び分析の支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国際海事機構 (IMO)	3.1 沿岸諸国による海事ビジネス計画、治安政策及び組織計画の策定支援。 3.2 船のトラッキング、漁船の監視等を通じた海事機関の状況に応じた対応能力の向上。	2013-2018	開発段階と目標
		国際移住機関 (IOM) 国連薬物犯罪事務所 (UNODC) 世界関税機構 (WCO)	2.1 海事法及び刑法の見直し支援及び執行能力・技能の改善支援。 2.2 民軍協力の強化、海事犯罪の減少、持続可能な漁業の収入向上支援。	2013-2018(仮)	法案通過数、訴訟手続きの数等のモニタリング及び評価
		世界関税機構 (WCO)	3.1 不正薬物や武器の密輸等国境における諸問題への対処、偽造品対策に必要な税関当局の能力向上による、国境における違法貿易の取締り。	2012-2017	アフリカ地域における違法薬物の押収等に関する報告書
		国際移住機関 (IOM)	3.1 効果的な国境管理のためのCOMESA地域における政府機関の能力強化。 3.2 南部アフリカ地域及びインド洋諸島における人身取引被害者の支援、並びに人身取引対策及び国境管理のための能力構築支援。 3.3 政府及び地方機関の能力構築によるアデン湾及び紅海を通じた安全かつ秩序ある移動のための国境及び出入国管理の強化。 3.4 反人身取引措置の支援及び包括的な支援を通じた被害者の保護。 3.5 出入国及び国境管理方針の効果的な実施のための各国政府の支援を通じた、国境沿いの安全への貢献。	2013-2018	IOMの国別・地域別戦略計画及び特定プログラム実績管理枠組みによるモニタリング及び評価
		国連薬物犯罪事務所 (UNODC)	3.1 西アフリカ地域プログラムを通じた西アフリカにおける薬物乱用、違法薬物取引及び組織犯罪防止に関するECOWAS政治宣言の支援。 3.2 地域におけるアクセス可能、効率的かつ説明可能な刑事司法システム及び能力強化支援によるサヘル危機への対応。 3.3 アラブ諸国における薬物管理、犯罪防止及び刑事司法改革に関する地域プログラム。 3.4 東アフリカにおける法の支配と人間の安全保障の推進のための地域プログラム。 3.5 SADC地域を犯罪及び薬物から守るための南部アフリカの地域プログラム。	2013-2017	地域プログラムの最終評価、年次進捗報告、三者プロジェクト検討会合、プロジェクトサイトの現地派遣団等を通じたモニタリング及び評価

4	4.1 政策立案及び実施のための行政官の能力強化支援及び選挙プロセスの促進、サービス提供の改善、治安部門改革におけるアフリカ自身の取組支援 4.2 アフリカにおけるグッドガバナンスの強化、特にAPRMにおいてレビュー済みの国々における国家行動プログラムの実施支援	日本政府	4.1 APRMを含むグッドガバナンス推進支援。少なくとも30カ国において実施。 4.2 司法、メディア、地方自治等分野での能力向上支援。国及び地方併せて5,000人以上の行政官育成。 4.3 治安維持セクターの能力向上支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
		国連開発計画 (UNDP)	4.1 説明責任、政治参加・代表を促進するために、議会、憲法による機関、選挙機関、市民団体への状況に即した支援。 4.2 開発における市民社会の効果的で透明性のある関与を促すAPRMや他のアフリカでの取り組みや対話への支援。 4.3 ガバナンスアセスメントや「ソート・リーダーシップ」を推進(アフリカ・ガバナンス・レポート、アフリカ・ガバナンス・フォーラム等イニシアチブ)及びAU共通価値観アジェンダの実施支援。 4.4 女性の政策決定への参加を促す政策の推進や、立法・司法機関の強化支援。 4.5 人権に関する国際的・地域的な条約の批准支援及び機関の調整及び基準設定機能等の強化支援。 4.6 選挙サイクル管理の基準やガイダンスの開発及び改善。 4.7 性およびジェンダーにもとづく暴力の予防及び対処を強化するための過去の教訓に基づいたガイダンスの作成。 4.8 市民社会、研究機関・シンクタンク、女性グループと連携した、治安に携わる地域及び国レベルの機関との連携支援。 4.9 国際的な基準に則し、人権に基づくアプローチを確保するための法的枠組みや制度的枠組みの調和への支援。 4.10 危機及び紛争後の諸国における、警察、司法、矯正分野のグローバルフォーカルポイントによる、司法・治安組織強化のための法による統治分野の支援。	2014-2017	TICADフォローアップメカニズム
		国際赤十字・赤新月社 国際連盟 (IFRC)	4.1 透明かつ説明可能な方法による各国支部のグッドガバナンスと運営の向上。	2012-2017	IFRCフォローアップ及び報告
		国際赤十字・赤新月社 国際連盟 (IFRC) 人道外交事務所	4.1 ビアレビュー及び支援を通じた各国支部の機能強化を達成することによる、アフリカ・ガバナンス・グループ(第8回汎アフリカ会議で採択)の事務局機能の強化。	2013-2016	報告及び国会合議事録
		ポルトガル政府	4.1 司法部門への協プログラム(司法プログラム)。 4.2 政策の一貫性への認識強化、地方政府の市民の能力強化と能力構築。	2003-2015	TICADフォローアップメカニズム
5	その他の取組	アフリカ担当事務総長特別顧問事務所(UNOSAA)	5.1 事務総長年次報告「アフリカにおける紛争の要因及び恒久的平和と持続可能な開発促進」作成の協議及び準備。 5.2 事務総長報告や他の政府間プロセスにインプットを行う開発、平和及び安全保障に対する天然資源の役割に関する専門家グループ会合の開催。	5.1 2013-2017 5.2 2014	5.1 年次報告 5.2 報告
		ポルトガル政府	5.1 海上警備組織に対する支援(ナビゲーション視聴覚機材のネットワーク)	1998-2013	TICADフォローアップメカニズム
注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会、地域経済共同体、アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。					
注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。					
注:*再掲					

別表テンプレート

VII フォローアップメカニズム

TICAD Vが支援する アフリカの取組	実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	共同事務局 日本外務省、アフリカ連合委員会(AUC)、国連アフリカ担当事務総長特別顧問室(UNOSAA)、国連開発計画(UNDP)、世界銀行(WB)	共同事務局は、TICADフォローアッププロセスにおけるTICAD共催者間の調整及び意思疎通を円滑に行うために設置される実質的な事務局である。共同事務局の主な職務の要点は以下の通り。 1. 共同事務局の機能 (a) モニタリング合同委員会及び閣僚会合の日時、場所、参加者の決定。 (b) モニタリング合同委員会及び閣僚会合の議題の設定、必要に応じてこれら会合の成果文書の起案。 (c) 年次進捗報告書の作成準備を含むTICAD Vのフォローアップ。 (i) AUCは、アフリカ側取組の実施の進捗についてフォローアップする。 (ii) 各々の専門知識を活かし、他の共催者は横浜行動計画2013-2017の各セクターの進捗についてフォローアップする。 (iii) 日本は、横浜行動計画2013-2017の実施の進捗全体をとりまとめ、少なくともモニタリング合同委員会が開催される2週間前に、全て共同事務局メンバーと共有し、コメントと検討を求める。 (d) TICAD関連文書(英語及び仏語)の翻訳業務の分担。 (e) 各々の共催者のウェブサイトを通じたTICAD関連情報の発信。 2. 運営及び段取り (a) 共同事務局は、ビデオ会議やEメール等の様々なコミュニケーション手段を用いて主として、ネットワーク上かつ遠隔的に作業することが想定されている。 (b) 共同事務局は、通常少なくとも年に2回会合を開催する、そのうち1回はモニタリング合同委員会との同時開催。TICAD共催者運営委員会は、TICAD共同事務局に改名する。 (c) 各々の共催者は、TICAD関連活動の時宜的かつ効率的な調整を確保するために2013年11月時点で担当連絡先を指名する。担当連絡先は最新のものである必要がある。 (d) 日本は、全ての共同事務局のメンバーが関与するための調整役を最初に担う。決定は全会一致によってなされる。		

注: 具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会、地域経済共同体、アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注: フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注: EUの取組は7カ年計画が最終的に確定した段階で報告される予定である。